

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
252～ 253	8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画総務費	4-3	地域公共交通 検討調査費	千円 8,400

1 事業概要

人口減少、少子・高齢化の進行などから、公共交通機関の利用者数が減少する中、各交通事業者は、赤字路線を黒字路線の収益で補うとともに、運輸部門の赤字をそれ以外の収益でまかないながら、路線の運行を維持されている状況にあるが、このままでは利用者が少ない路線を中心に、減便や路線廃止などが懸念されている。

このような中、将来的にも公共交通ネットワークを維持していくためには、持続可能な公共交通機関へと転換していく必要があり、そのための方策等を検討していくための基礎資料として、交通系ＩＣカードのデータを収集・分析し、利用実態の把握や将来の予測を行うものである。

2 令和２年度事業内容

(1) 予算内訳

ア 委託料

交通系ＩＣカードデータ分析業務委託：8,400千円

〔調査目的〕

- バス路線網の効率化・見直しに向けた基礎資料の作成
- 地域公共交通網形成計画への活用
- 地域住民への説明資料への活用

〔委託内容〕

- ①現状把握・分析（路線バス・路面電車の令和元年度データを活用）
 - ・路線毎の利用者数
 - ・路線毎の収支
- ②将来予測（将来人口推計を基に予測）
 - ・路線毎の利用者数
 - ・路線毎の収支

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
8,400	—	—	—	—	8,400

■まちをつなげるプロジェクト【取組み期間:令和元年8月～令和5年3月】

安心して暮らせる公共交通の仕組みをつくる

令和元年度

長崎市公共交通
総合計画の策定

将来像を描く

バス路線の持続可
能な姿への転換

コミュニティバス
の見直し

縁辺部における新
たな仕組みづくり

- ・事業者の考えなどにつ
いて情報収集
- ・見直し案の検討

- ・利用状況、収支状況の
分析
- ・見直し案の検討

- ・輸送手段の研究
- ・輸送手段を実施するた
めの事例整理

「地域公共交通活性化再生法」によ
るバス路線再編を後押しする計画
(現在、国において法制度改正に向
けた動きあり)

地域公共交通網形成計画

(交通事業者と協議のうえ作成)

令和2年度(予定)

業務委託

交通 IC カード情報
に基づく利用状況、
収支状況等の分析

C=8,400 千円

・事業者、地元等
との協議・調整

・事業者、地元等
との協議・調整

・実施地域選定
・事業者、地元等
との協議・調整

支援策の検討

・地域選定
・詳細協議

・地域選定
・詳細協議

地域公共交通再編実施計画

(交通事業者の同意のもと作成)

令和3年度～(予定)

試験運行・検証

試験運行・検証

試験運行・検証

本格運行実施

本格運行実施

本格運行実施

- ・再編実施計画の策定により、既存
補助制度の緩和や、他事業者参入
の制限などが措置される
- ・再編実施計画を策定するため
には、網形成計画の策定が必要

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
252～ 253	8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画総務費	4-5	路線バス運行対 策費	千円 17,817

1 事業概要

式見地区及び香焼地区において、地域住民の利便性の向上などを図るため、地域バス路線の運行に対して支援を行う。

○運行路線

・滑石式見線

式見ダム建設やいこいの里建設等における用地協力の際の地元からの要望を受け、地域住民の利便性を向上させるため、平成6年8月から運行開始したバス路線の運行に対して支援を行っている。

・香焼恵里線

合併以前において、旧香焼町がバス事業者に働きかけ、平成7年4月から路線延長した「香焼本村」から「恵里」までのバス路線の運行に対して支援を行っている。

※各路線の運行概要は別紙参照

2 令和2年度事業内容

(1) 予算内訳

区分	路線名	予算額	備 考
補助金	滑石式見線	9,406 千円	・補 助 金：運行経費－運賃収入 ・補助期間：R2.4.1 ～ R3.3.31
	香焼恵里線	8,411 千円	
	計	17,817 千円	

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 17,817	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 17,817

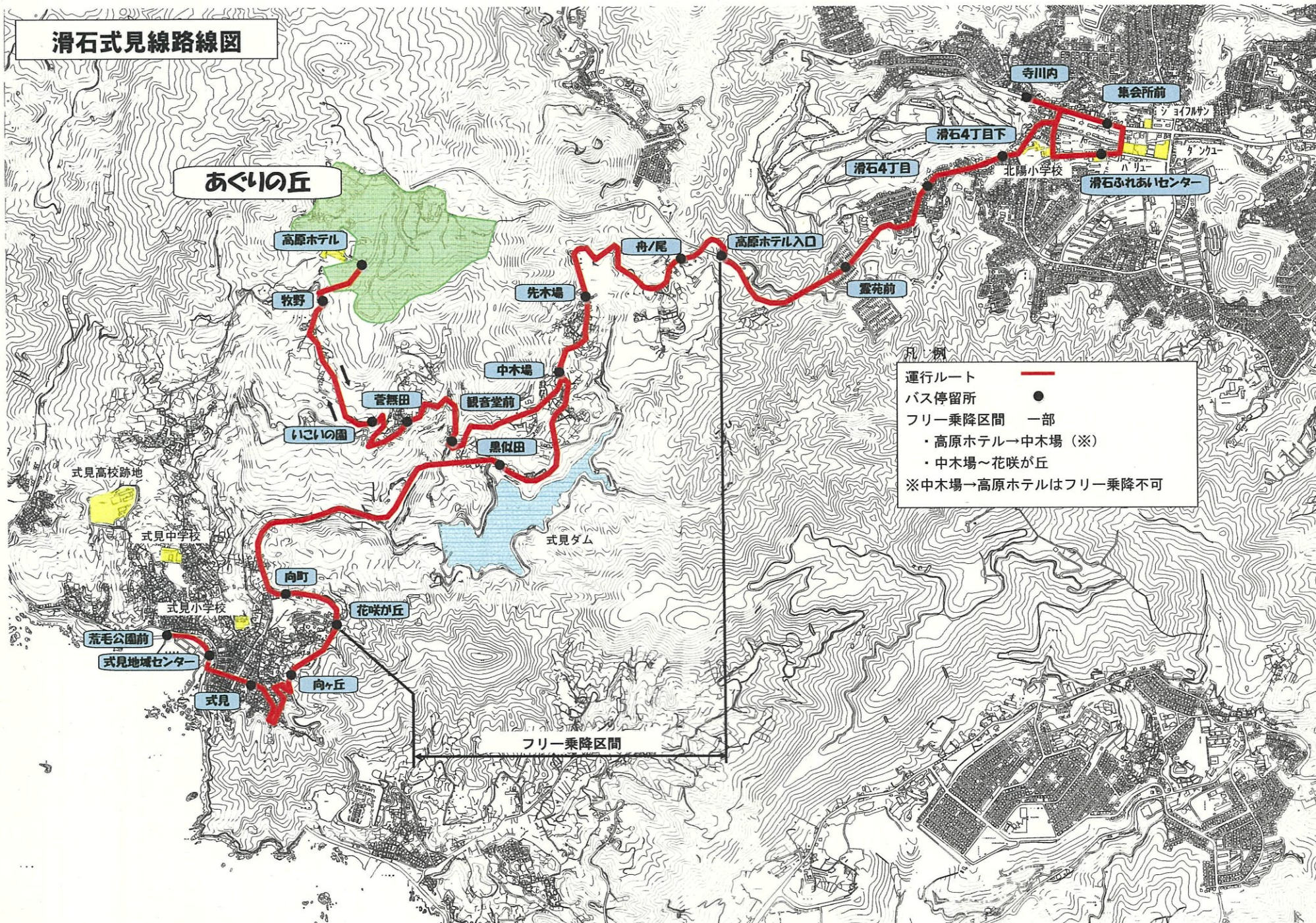
路線バス運行概要

路線名	運行開始年	運行事業者 (バス会社)	運行形態 (※1)	バス車両 (乗車定員)	台数 (登録年)	運行 距離	運行 便数	運行 時間	運休日	運賃 (大人)	利用状況 (1日平均)		R01年度予算(単位:千円)				R02年度予算(単位:千円)			
											H29	H30	運行 経費	運賃 収入	補助金	補助率 (%)	運行 経費	運賃 収入	補助金	補助率 (%)
滑石式見線	平成6年 8月～	長崎バス	赤字補助	中型バス (57人)	1台 (H12)	14.5km	10	6:55～ 18:55	なし	160円～ 300円	41人	39人	11,167	1,800	9,367	84%	11,156	1,750	9,406	84%
香焼恵里線	平成7年 4月～	長崎バス	赤字補助	大型バス (事業者車両)	—	2.0km	平日86 土曜日67 日祝日62	6:00～ 22:45	なし	160円	239人	222人	10,199	2,017	8,182	80%	10,436	2,025	8,411	81%
合 計													21,366	3,817	17,549	82%	21,592	3,775	17,817	83%

※1:運行形態の赤字補助は、運行事業者と協定を結び、運行収支の赤字分を補助金として事業者へ交付するものである。

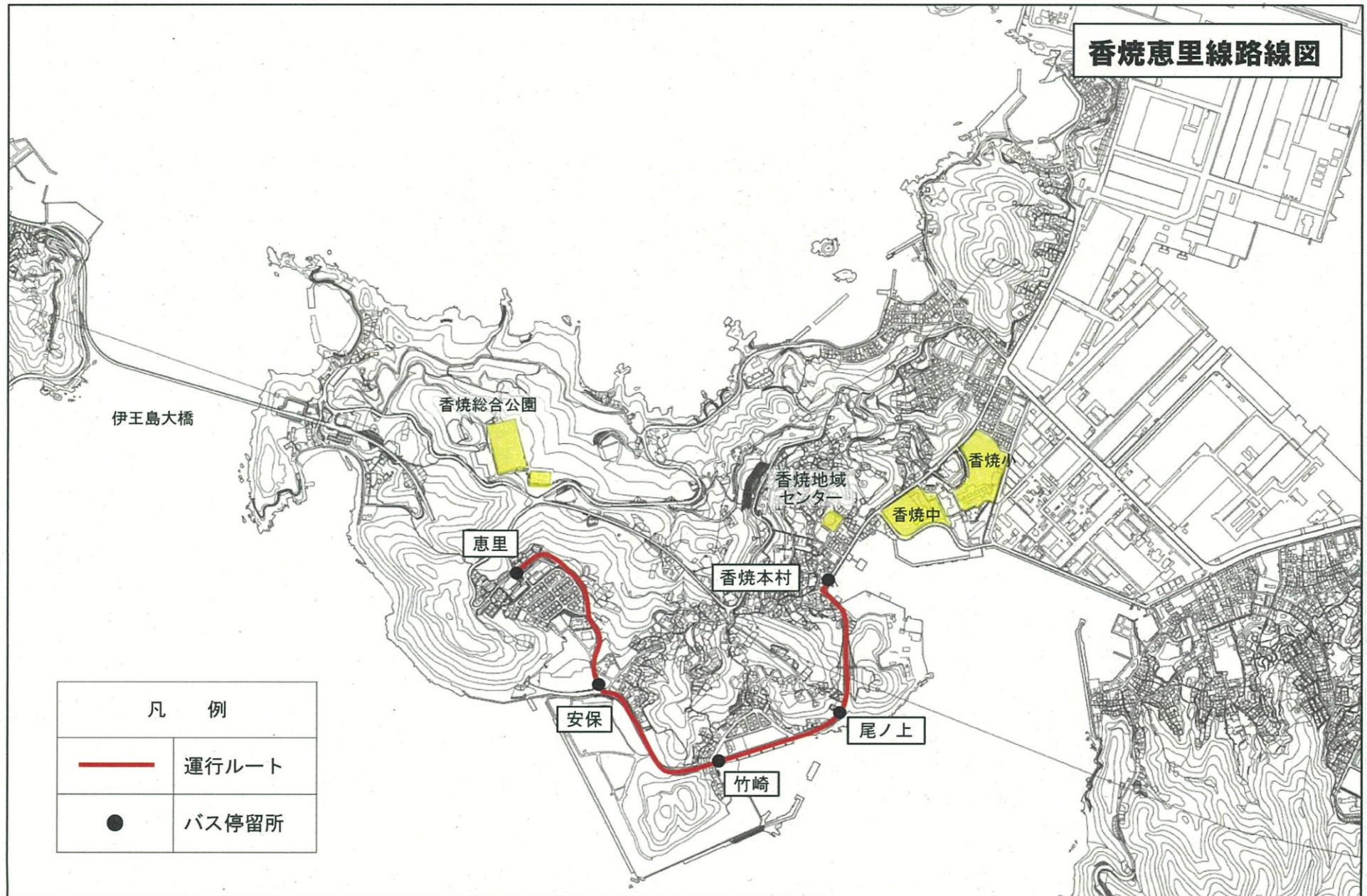
滑石式見線路線図

あぐいの丘



香焼恵里線路線図

凡 例	
	運行ルート
	バス停留所



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
254～ 255	8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画総務費	4-6	離島航路維持対 策費	千円 113,944

1 事業概要

「長崎～伊王島～高島航路」及び「池島～神浦航路」は、本土と離島を結ぶ唯一の公共交通機関であり、地域住民の生活を守り、離島地域の振興を図るうえで欠くことのできないものであることから、運航のために必要な支援を行う。

○航路概要

・長崎～伊王島～高島航路

航路距離 : 20.1km
 運航回数 : 8往復/日
 運休日 : なし(毎日運航)
 所要時間 : 長崎～伊王島19分、長崎～高島31分、伊王島～高島12分
 旅客運賃 : 長崎～伊王島…大人 680円(小人340円)【片道】
 長崎～高島…大人1,040円(小人520円)【片道】
 伊王島～高島…大人 380円(小人190円)【片道】
 船舶 : ①高速船(鷹巣(たかす))【旅客定員150名】
 ②高速船(俊寛(しゅんかん))【旅客定員268名】

運航事業者：野母商船株式会社

・池島～神浦航路

航路距離 : 7.0km
 運航回数 : 4往復/日
 運休日 : 毎月 第2日曜日、第4日曜日、第5日曜日
 8/13～8/15(お盆)及び12/31～翌年1/3(年末年始)
 所要時間 : 約15分
 旅客運賃 : 大人370円(小人160円)【片道】
 船舶 : 進栄丸【旅客定員12名】
 運航事業者：個人

2 令和2年度事業内容

(1) 予算内訳

区分	予算額	備 考
補助金	113,835 千円	・長崎～伊王島～高島航路 99,285 千円 ・池島～神浦航路 14,550 千円
その他経費	109 千円	関係機関との協議等に係る旅費
計	113,944 千円	

(2) 補助金内訳

ア 長崎～伊王島～高島航路

単位：千円

年 度	運航経費 ①	収益 ②	補助金 ①－②	内 訳		
				国	県	市
令和元年度	344,000	114,000	230,000	88,000	71,000	71,000
令和2年度	378,850	121,280	257,570	59,000	99,285	99,285

※国庫補助金は予定額

※欠損額から国庫補助金を差し引いた金額を県・市で負担（県：市＝1：1）

※補助制度

国：地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱

県：長崎県離島航路事業対策補助金実施要綱

市：長崎市離島航路維持対策費補助金交付要綱

イ 池島～神浦航路

単位：千円

年 度	運航経費 ①	収益 ②	補助金 ①－②	内 訳		
				国	県	市
令和元年度	17,010	1,310	15,700	—	—	15,700
令和2年度	15,995	1,445	14,550	—	—	14,550

※補助制度

市：長崎市地域交通船運航費補助金交付要綱

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 113,944	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 113,944

4 利用状況

(1) 長崎～伊王島～高島航路

年 度	旅客数（人）		備 考
	人／年	人／日	
平成30年度	176,368	483	
令和元年度	176,101	482	

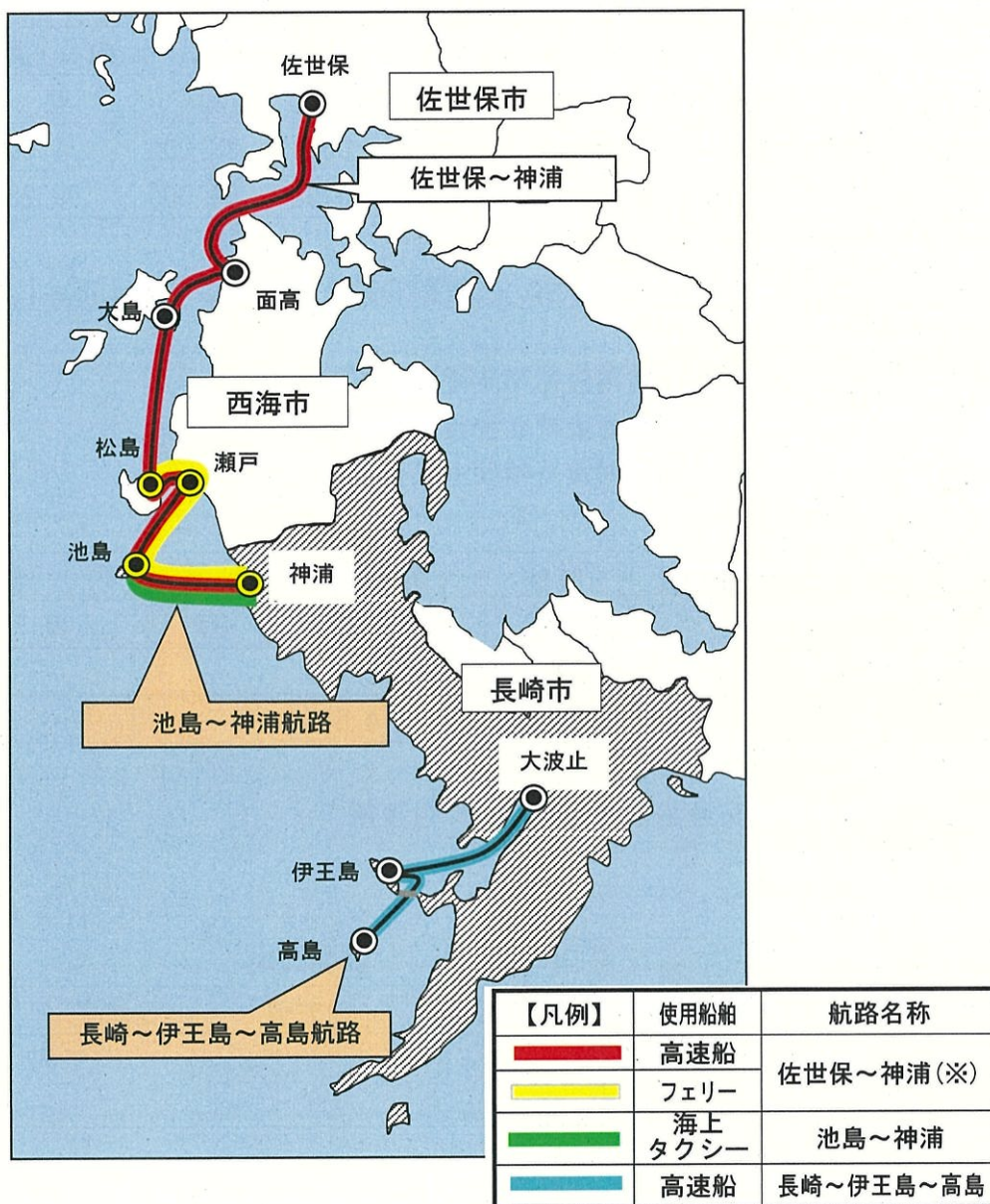
※年度は前年10月～当年9月

(2) 池島～神浦航路

年 度	旅客数（人）		備 考
	人／年	人／日	
平成29年度	5,832	17	
平成30年度	5,006	18	

※H30.10減便（5往復⇒4往復）

離島航路図



※佐世保～神浦航路は、国、県の補助金が充てられていることから、
長崎市の負担は生じていない。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
254～ 255	8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画総務費	4-7	公共交通空白地 域対策費	千円 26,011

1 事業概要

バス空白地域に居住する地域住民の利便性の向上や高齢者の社会参加の促進などを図るため、市内5地区（丸善団地地区、矢の平・伊良林地区、北大浦地区、金堀地区、西北地区）において乗合タクシーを運行する。

※各地区の運行概要は別紙参照

2 令和2年度事業内容

(1) 予算内訳

区分	予算額	備 考
補助金	25,811 千円	補 助 金：運行経費－運賃収入 ・丸善団地地区：1,285 千円 ・矢の平・伊良林地区：3,565 千円 ・北大浦地区：6,010 千円 ・金堀地区：9,543 千円 ・西北地区：5,408 千円 補助期間：R2.4.1～R3.3.31
その他経費	200 千円	標柱修繕費、チラシ印刷費など
計	26,011 千円	

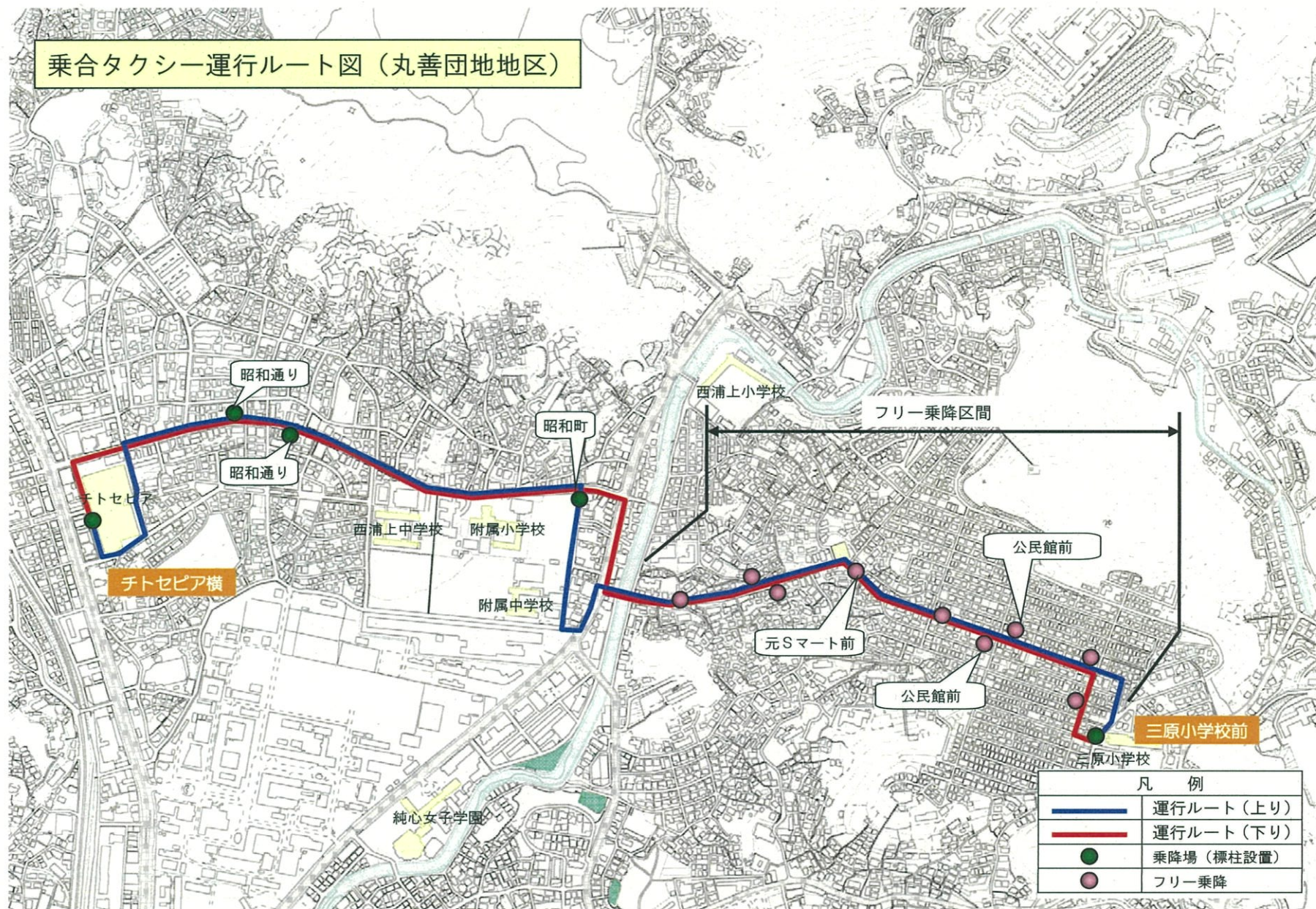
3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 26,011	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 26,011

乗合タクシー運行概要

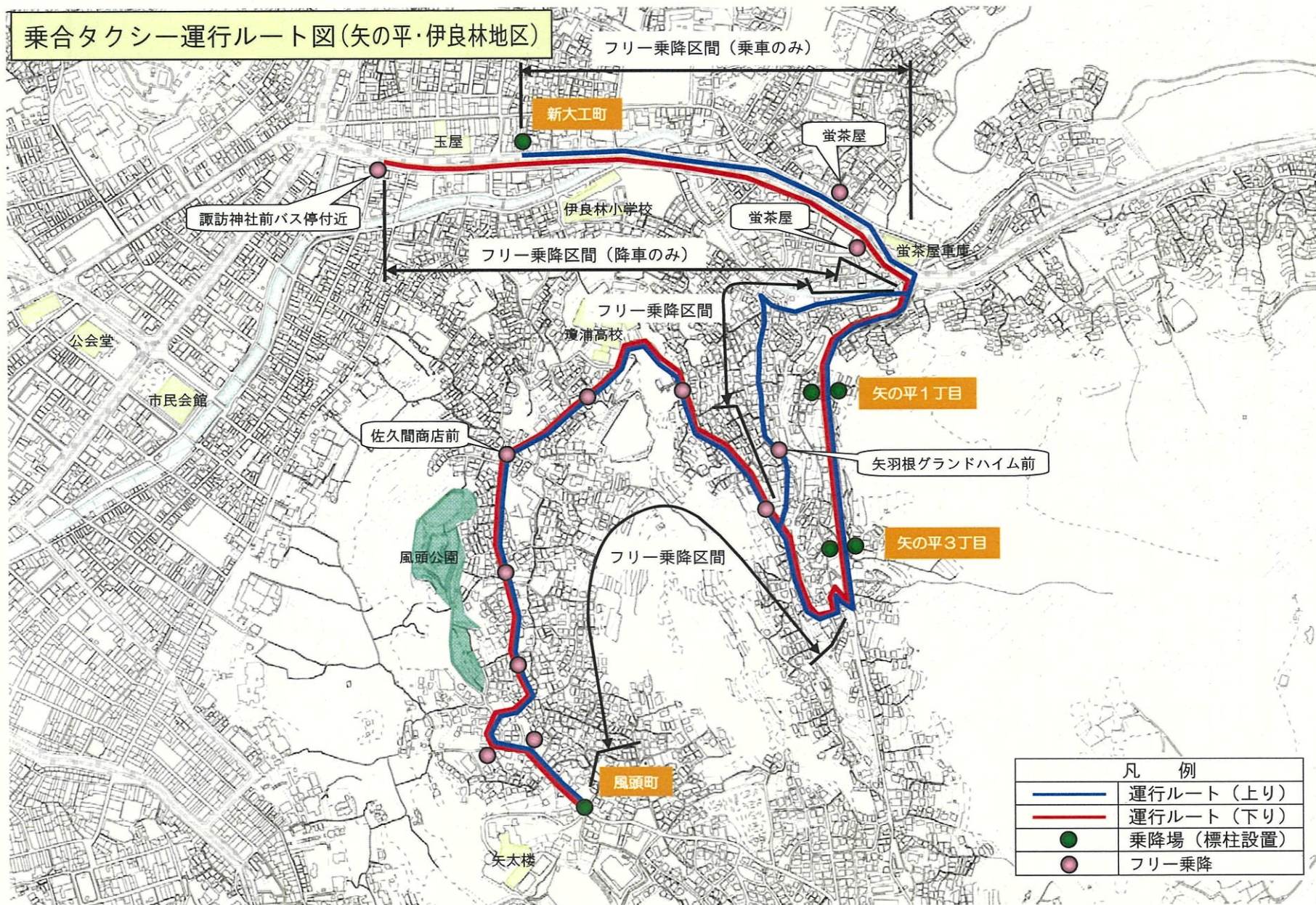
運行 地区	試行 実験	本格 運行	運行 事業者	運行車両	運行距離 (往復)	運行 本数	運行 時間	運休日	運賃	利用状況 (1日平均)		R01年度予算(単位:千円)				R02年度予算(単位:千円)			
										H29	H30	運行 経費	収入	補助金 ※1	補助率	運行 経費	収入	補助金 ※1	補助率
丸 善 団 地 地 区	H13. 10. 19 ～ H13. 12. 31	H14. 4. 8 ～	ラッキー 自動車(株)	ジャンボ タクシー (定員9名)	約5.0km	【平 日】 25往復(50便) 【土日祝】 22往復(44便) [30分間隔]	【平 日】 7:30～ 19:45 【土日祝】 9:00～ 19:45	1月1日 ～ 1月3日	大人(中 学 生 以 上): 200円 子 供 (小 学 生 以 下): 100円	190人	186人	13,272	10,485	2,787	21%	12,513	11,228	1,285	10%
伊 良 木 地 区			丸寿タク シー(株)		約6.5km	同上 ※旧道ルート: 上り便のうち2 時間に1便 (全6便/日)	【平 日】 7:30～ 19:46 【土日祝】 9:00～ 19:46			181人	176人	13,320	10,294	3,026	23%	13,647	10,082	3,565	26%
北 大 浦 地 区	H15. 10. 1 ～ H16. 9. 30	H16. 10. 1 ～	文化タク シー(株)		新地: 約4.1km 石橋: 約4.1km 館内: 約0.6km	【平 日】 27往復(54便) 【土日祝】 26往復(52便)	【平 日】 8:30～ 19:50 【土日祝】 9:00～ 19:50			112人	105人	10,465	6,034	4,431	42%	12,455	6,445	6,010	48%
金 堀 地 区			城山交通 (株)		約7.4km (松山電停經由 : 8.3km)	【平 日】 22往復(44便) 【土日祝】 20往復(40便) [30分間隔]	【平 日】 7:15～ 18:38 【土日祝】 8:15～ 18:38			104人	94人	11,985	5,376	6,609	55%	13,623	4,080	9,543	70%
西 北 地 区	H20. 6. 2 ～ H20. 11. 30	H21. 10. 1 ～	(有)住吉タク シー		岩屋: 約4.0km 西北: 約3.0km 若竹: 約2.4km 柳谷: 約2.0km	【平 日】 31往復(62便) 【土日祝】 14往復(28便)	【平 日】 7:25～ 19:27 【土日祝】 10:20～ 17:52			110人	104人	10,396	5,749	4,647	45%	11,345	5,937	5,408	48%
合 計												59,438	37,938	21,500	36%	63,583	37,772	25,811	41%

※1 運行事業者と協定を結び、運行収支の赤字分を補助金として運行事業者へ交付する。



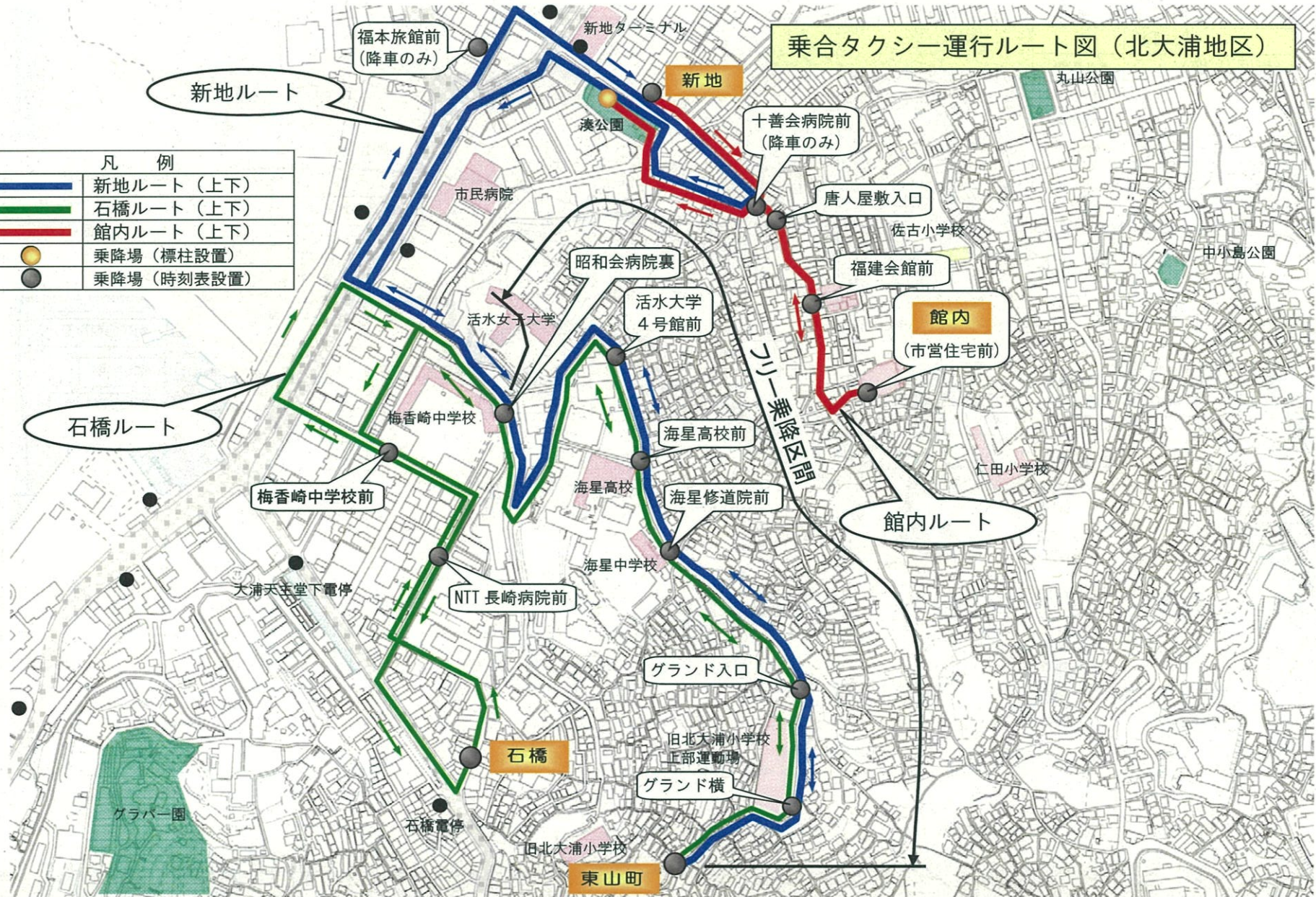
凡 例	
	運行ルート（上り）
	運行ルート（下り）
	乗降場（標柱設置）
	フリー乗降

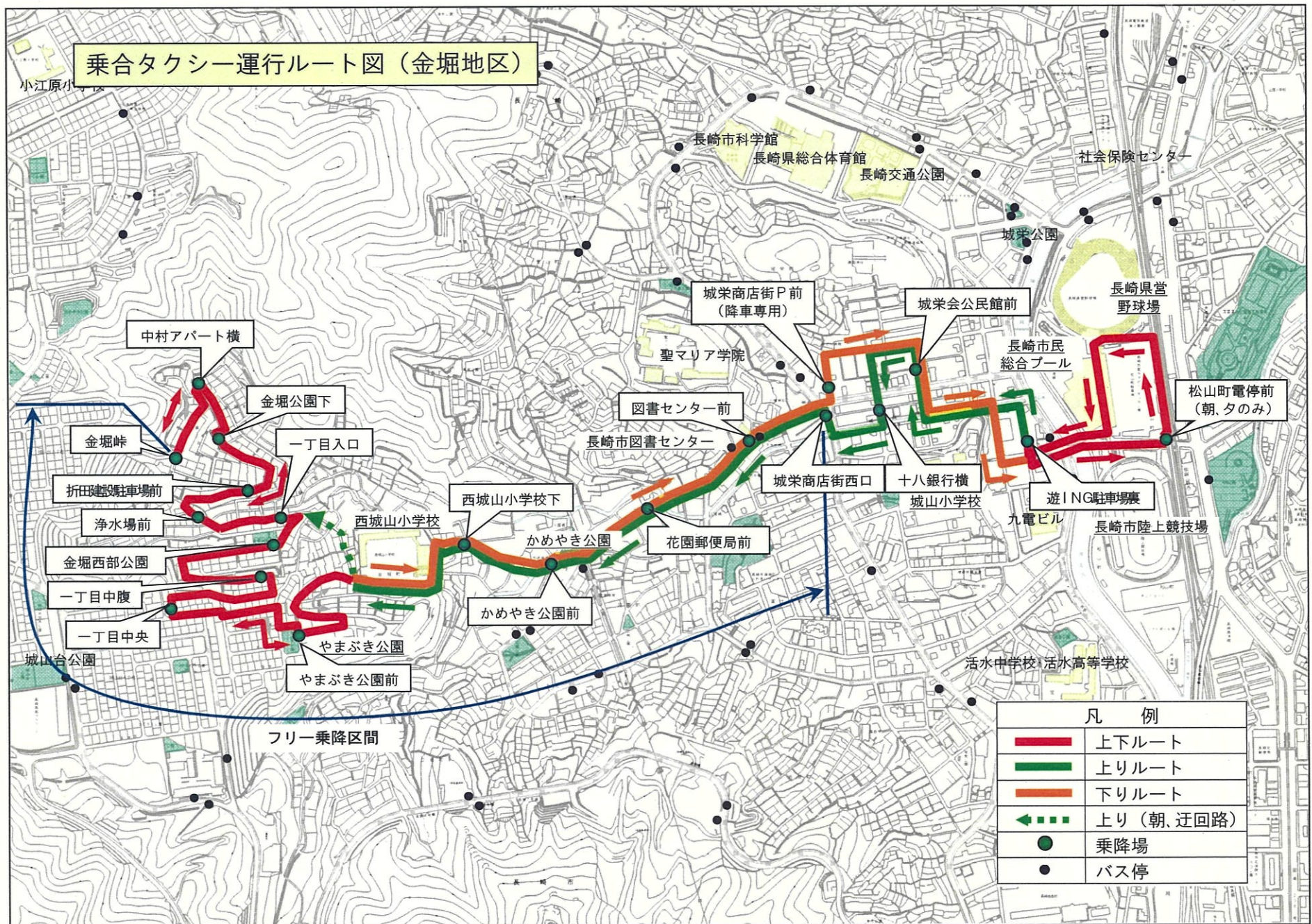
乗合タクシー運行ルート図(矢の平・伊良林地区)

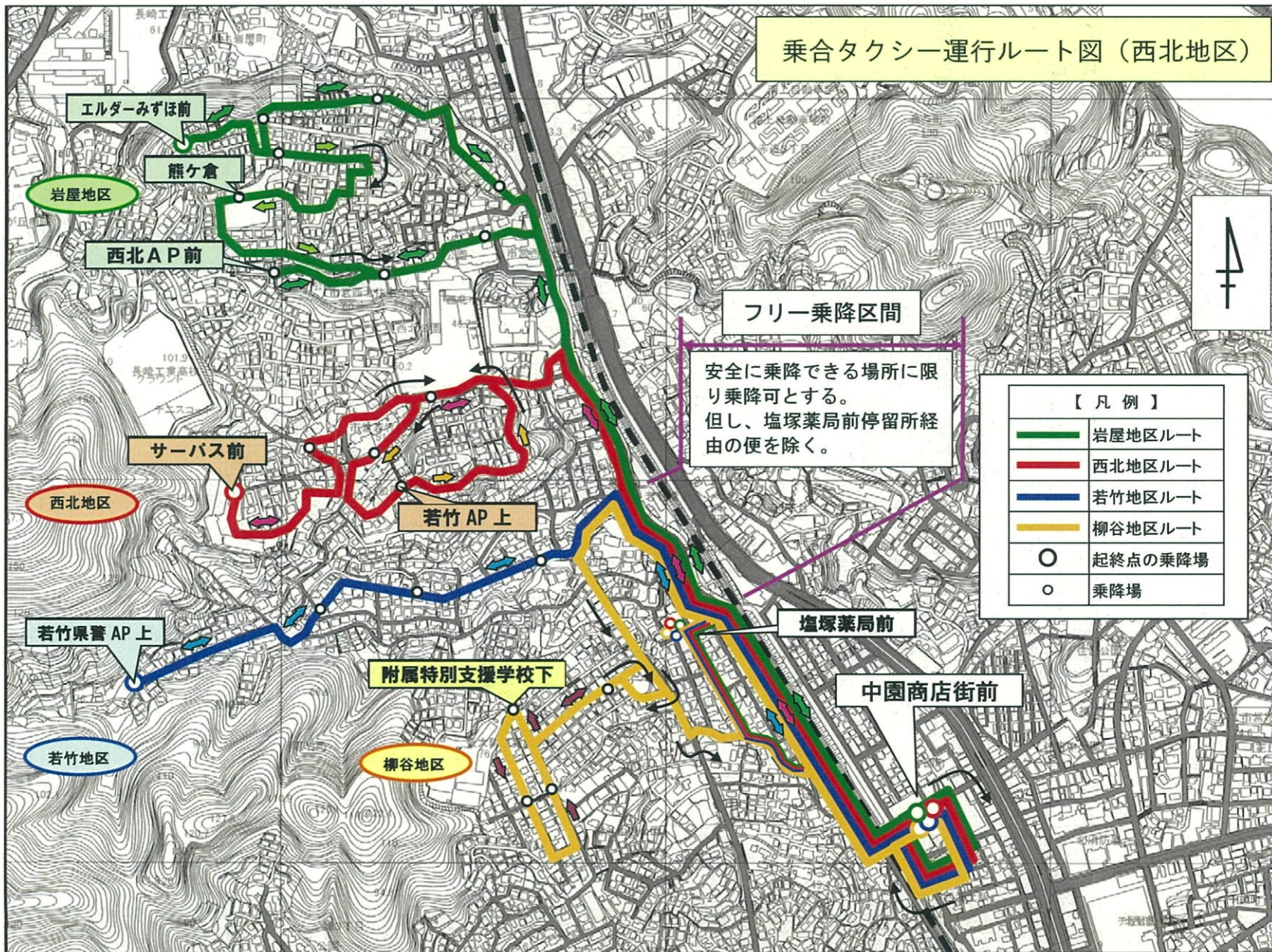


乗合タクシー運行ルート図（北大浦地区）

凡 例	
—	新地ルート（上下）
—	石橋ルート（上下）
—	館内ルート（上下）
●	乗降場（標柱設置）
●	乗降場（時刻表設置）







予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
254～ 255	8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画総務費	4-8	コミュニティバス 運行費	千円 80,829

1 事業概要

長崎地域市町村建設計画等に基づき、合併した各地区のバス空白地域や交通が不便な地域において、住民の利便性向上を図るため、コミュニティバス等を運行する。

○運行路線

- ・離島バス路線【3路線】 : 伊王島線、高島線、池島線
- ・地域コミュニティバス【5路線】 : 外海線、香焼三和線、三和線、野母崎線、琴海尾戸線
- ・デマンド交通【1地区】 : 琴海地区

※各路線の運行概要は別紙参照

2 令和2年度事業内容

(1) 予算内訳

区分	予算額	備考
補助金	80,064 千円	補 助 金 : 運行経費一運賃収入 ・伊王島線 : 12,396 千円 ・高島線 : 13,928 千円 ・池島線 : 5,913 千円 ・外海線 : 10,297 千円 ・香焼三和線 : 11,637 千円 ・三和線 : 7,440 千円 ・野母崎線 : 7,046 千円 ・琴海尾戸線 : 9,819 千円 ・琴海地区(デマンド交通) : 1,588 千円 補助期間 : R2.4.1 ~ R3.3.31
その他経費	765 千円	関係機関との協議に係る旅費、標柱修繕費、チラシ印刷費 など
計	80,829 千円	

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 80,829	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 80,829

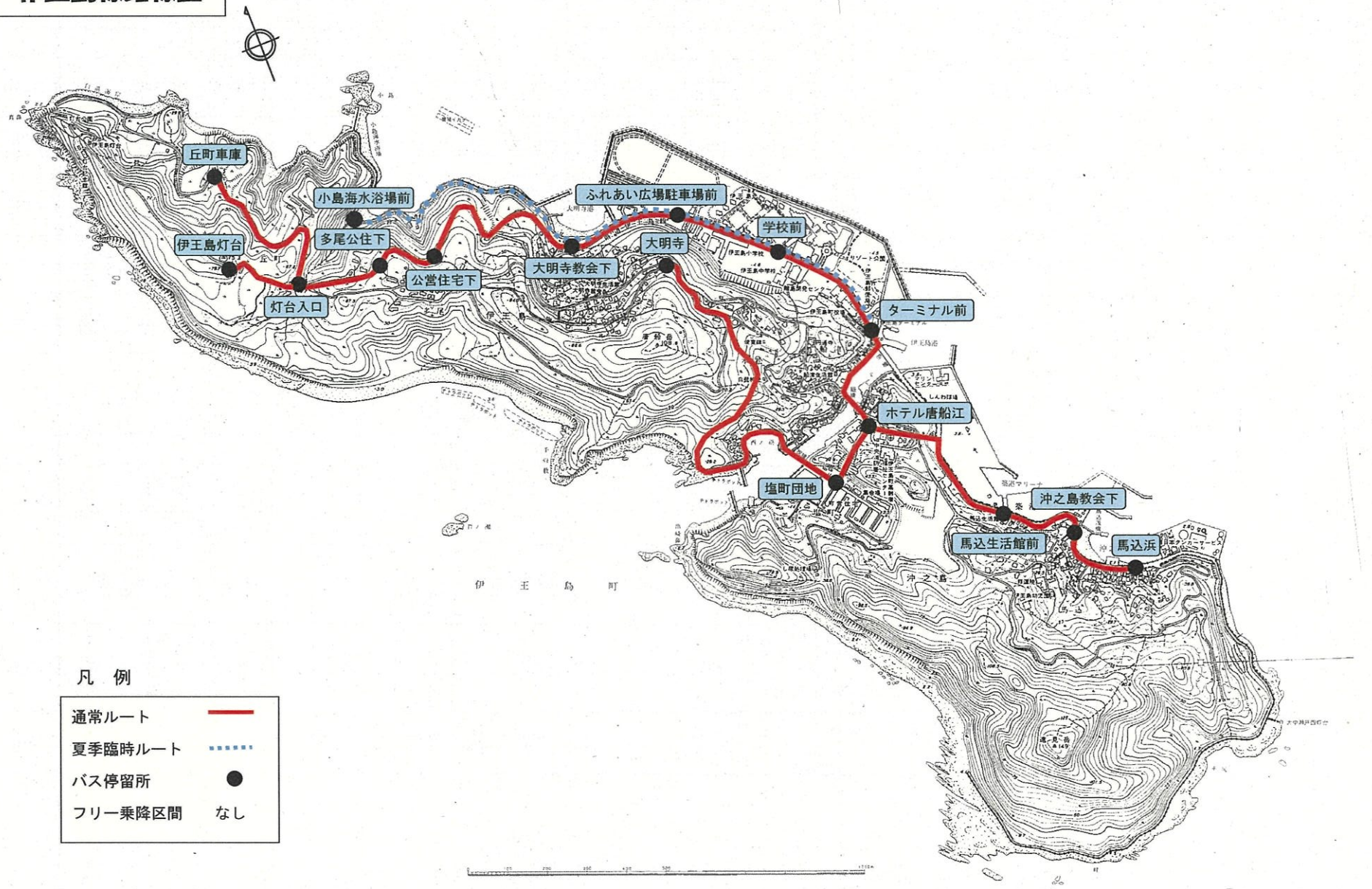
コミュニティバス運行概要

路線名	運行開始年月	運行事業者	運行形態※1	車両(乗車定員)	台数(登録年)	運行距離	運行便数	運行時間	運休日	運賃(大人)	利用状況(1日平均)		R01年度予算(単位:千円)				R02年度予算(単位:千円) ※2				
											H29	H30	運行経費	収入	補助金	補助率(%)	運行経費	収入	補助金	補助率(%)	
【コミュニティバス「羅島バス路線」】	伊王島線	昭和37年8月～	長崎バス(H16.10.1～) ※以前は、伊王島町営バス	赤字補助	小型バス(29人)	1台(H12)	10.8km	平日土10日祝8	平日8:25～20:05 土日祝日7:40～18:45	なし	100円	34人(海水浴除く)	33人(海水浴除く)	13,911	1,600	12,311	88%	13,896	1,500	12,396	89%
					中型バス(57人)	1台(H12)						海水浴16,540人/年	海水浴20,014人/年								
					小型バス(22人)	1台(H14)															
	高島線	昭和35年4月～	富川運送	赤字補助	中型バス(57人)	1台(H11)事業者所有	9.3km	平日17土日祝18	7:28～20:05	1月1日	100円	79人(海水浴除く)	79人(海水浴除く)	16,918	3,000	13,918	82%	16,928	3,000	13,928	82%
					中型バス(57人)	1台(H12)						海水浴9,929人/年	海水浴9,190人/年								
	池島線	昭和34年9月～	さいかい交通(H15.10.1～) ※以前は、長崎バス	赤字補助	超小型バス(13人)	1台(H17)	3.1km	平日22土曜16	6:50～18:50	日・祝	100円	32人	32人	7,283	850	6,433	88%	6,413	500	5,913	92%
超小型バス(13人)					1台(H9)中古リース(予備車)事業者所有																
小計														38,112	5,450	32,662	86%	37,237	5,000	32,237	87%
【コミュニティバス「地域コミュニティバス・デマンド交通」】	外海線	平成17年5月～	さいかい交通	赤字補助	超小型バス(13人)	2台(H17)	扇山線13.9km	11	7:05～18:01	土・日・祝12/31～1/3	160円～360円	28人	28人	11,138	900	10,238	92%	11,247	950	10,297	92%
				中型バス(57人)	1台(H12)	牧野黒崎線10.8km	11(通学対応1便含む)	7:40～16:56	160円～290円												
	香焼三和線	平成17年5月～	長崎バス	赤字補助	小型バス(31人)	4台(H17)	27.4km	8	8:00～15:21	土・日・祝12/31～1/3	160円～420円	134人	136人	13,795	3,500	10,295	75%	14,837	3,200	11,637	78%
	三和線	平成16年9月～	長崎バス	赤字補助			32.3km	4	7:30～16:53	土・日・祝12/31～1/3	160円～270円	33人	38人	7,743	800	6,943	90%	8,340	900	7,440	89%
	野田崎線	平成17年5月～	長崎バス	赤字補助	超小型バス(13人)	2台(H17)	13.2km	10	7:18～15:49	土・日・祝12/31～1/3	160円～340円	24人	22人	7,095	700	6,395	90%	7,696	650	7,046	92%
	デマンド交通琴海区域	平成21年10月～	琴海タクシー	赤字補助	セダン型タクシー(4人)	12台事業者所有	琴海地区全域	24(8地区×4便)	7:00～19:00	土・日・祝12/31～1/3	300円	10人	10人	3,144	2,076	1,068	34%	2,988	1,400	1,588	53%
	琴海尾戸線	平成20年4月～	長崎バス	赤字補助	大型バス(事業者車両)	-	尾戸線14.7km	6	7:25～19:39	なし	160円～450円	27人	23人	10,807	1,300	9,507	88%	11,019	1,200	9,819	89%
小計														53,722	9,276	44,446	83%	56,127	8,300	47,827	85%
合計														91,834	14,726	77,108	84%	93,364	13,300	80,064	86%

※1:運行形態の赤字補助は、運行事業者と協定を結び、運行収支の赤字分を補助金として事業者へ交付するものである。

※2:デマンド交通琴海区域については、国庫補助(地域公共交通確保維持改善事業)を見込み、予算計上を行った。

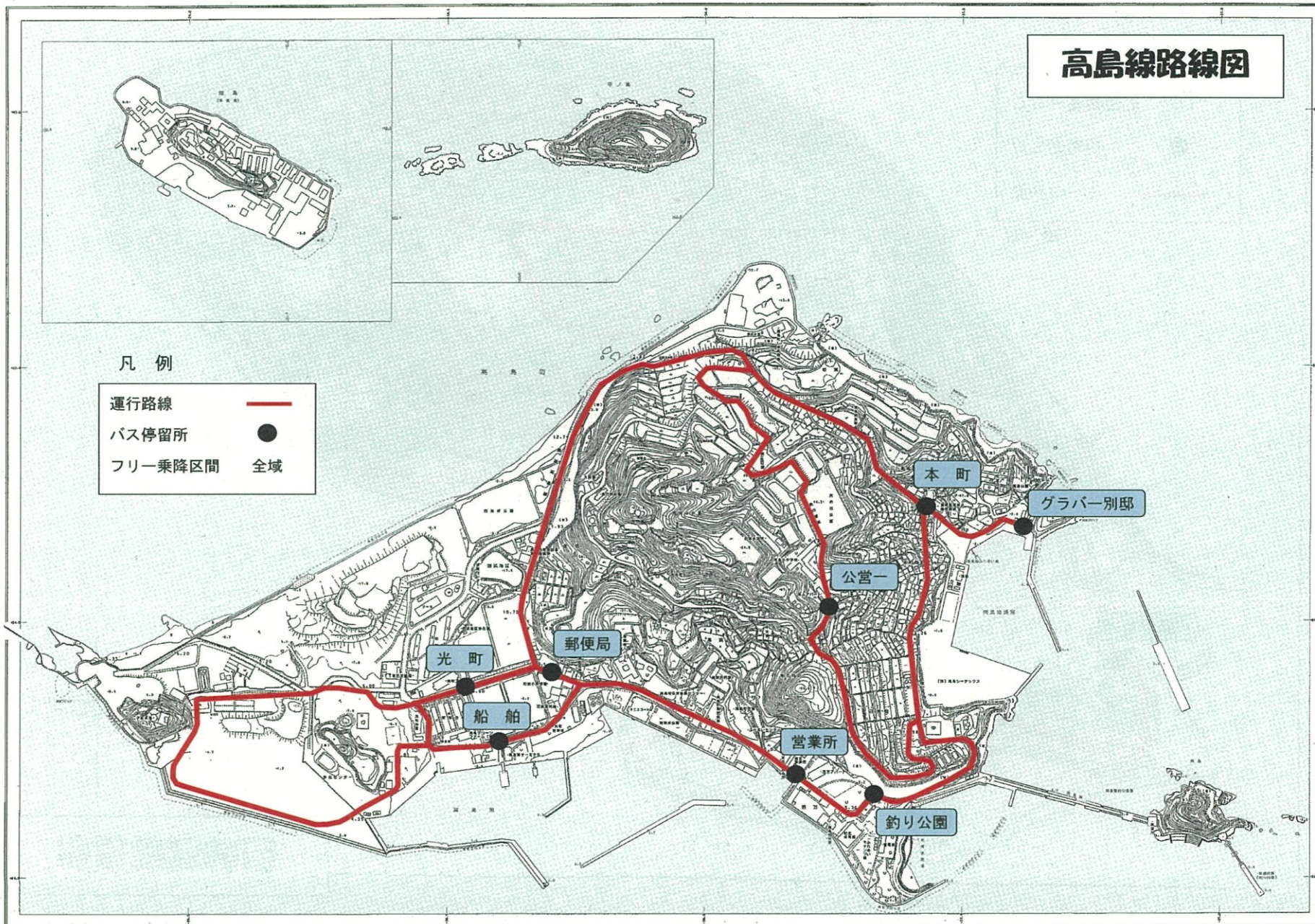
伊王島線路線図



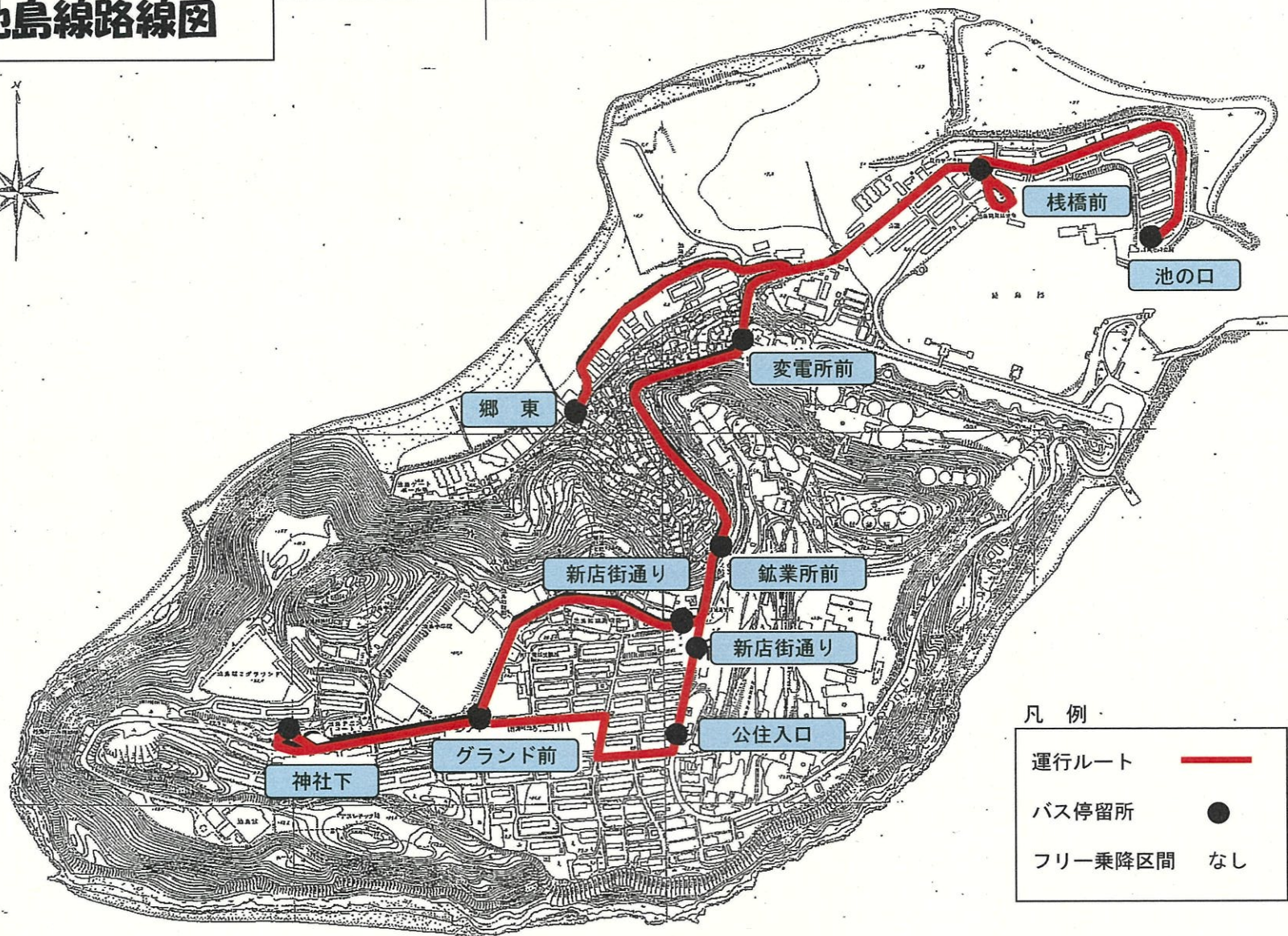
高島線路線図

凡 例

- 運行路線 —
- バス停留所
- フリー乗降区間 全域



池島線路線図



外海線路線図



母子島

大角力 (2)

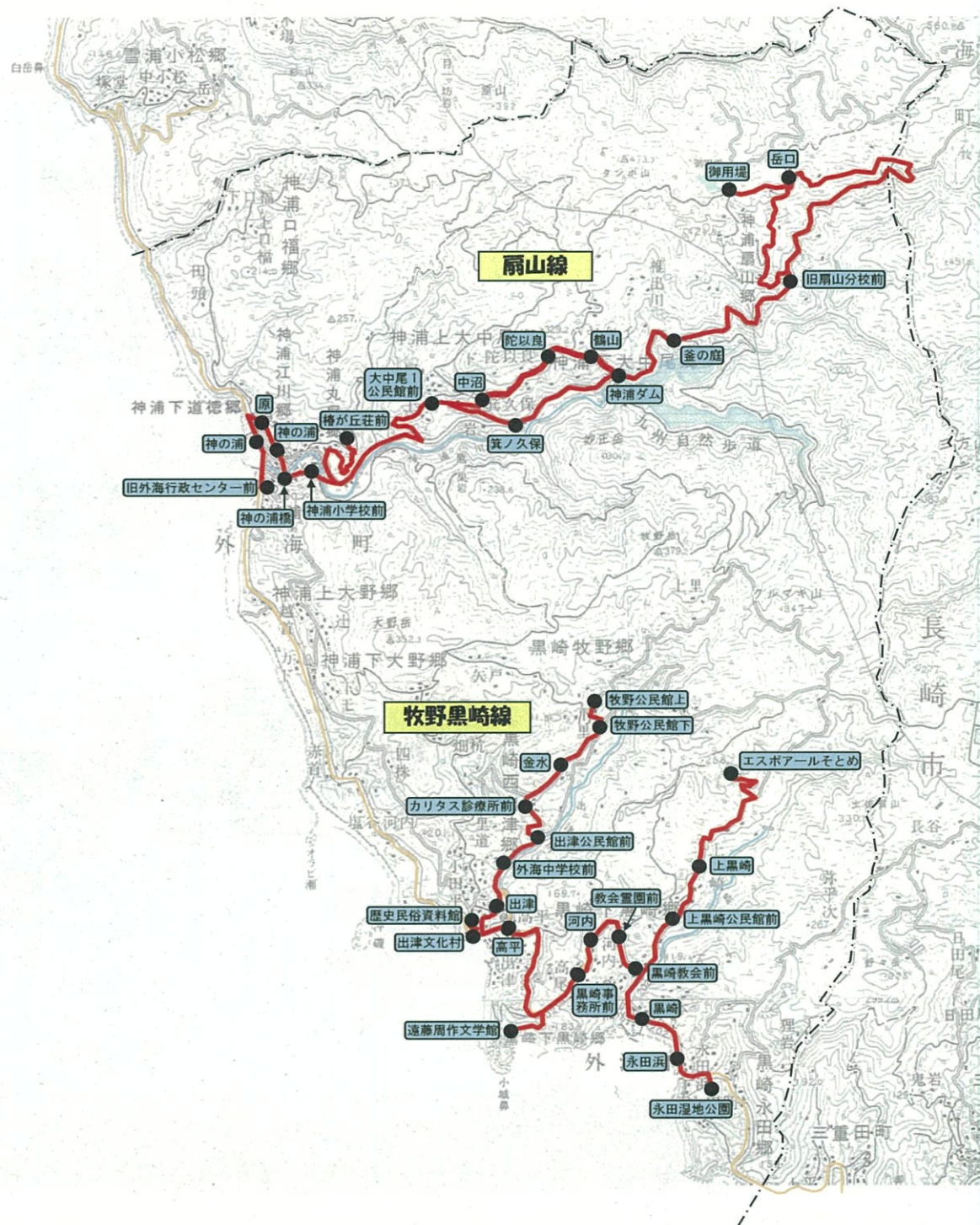
凡 例

運行ルート

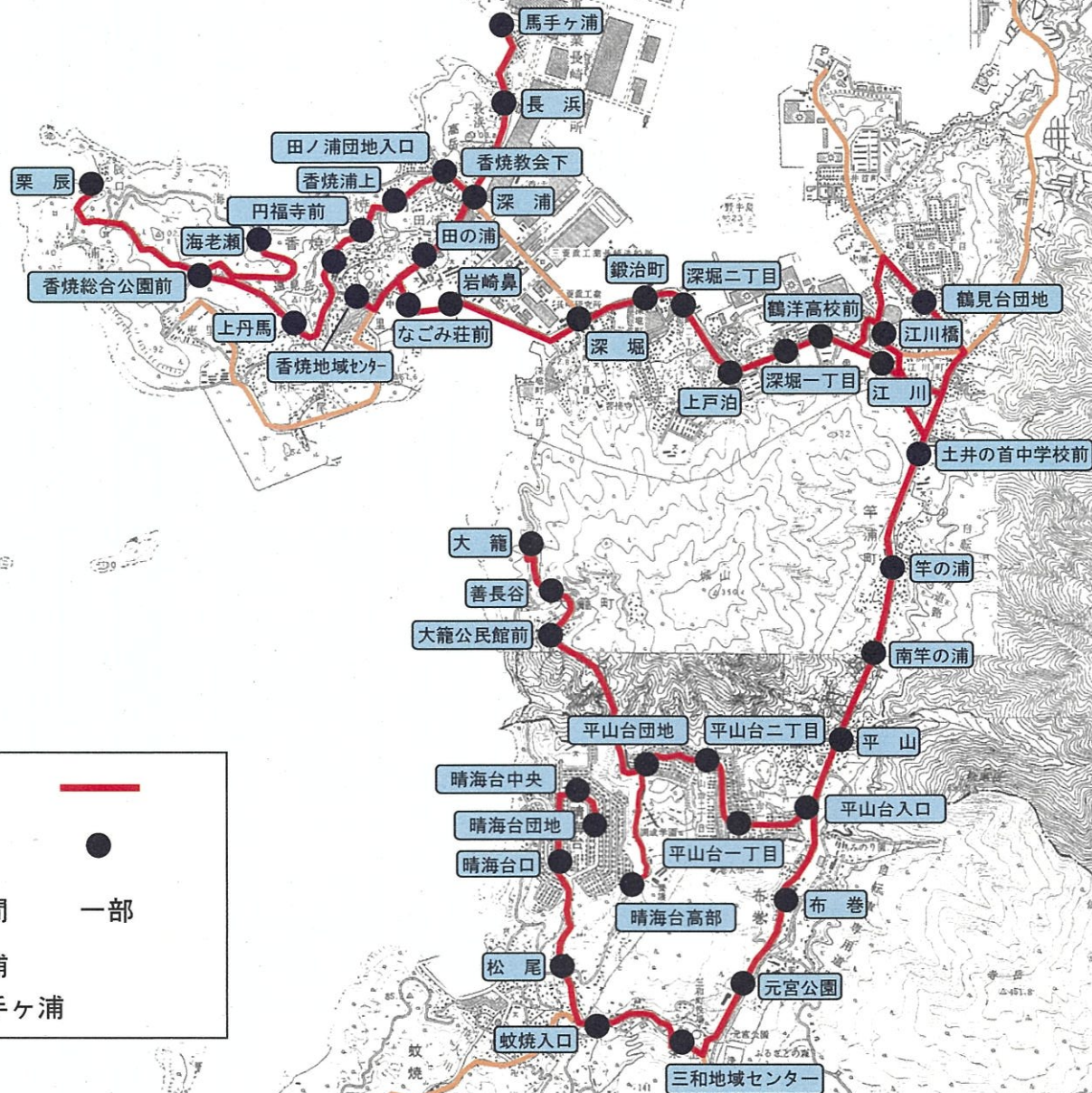
バス停留所

フリー乗降区間 一部

- ・ 神の浦橋～御用堤
- ・ 牧野公民館上～出津
- ・ 黒崎～エスポールそとめ



香焼三和線路線図



凡 例

運行路線



バス停留所

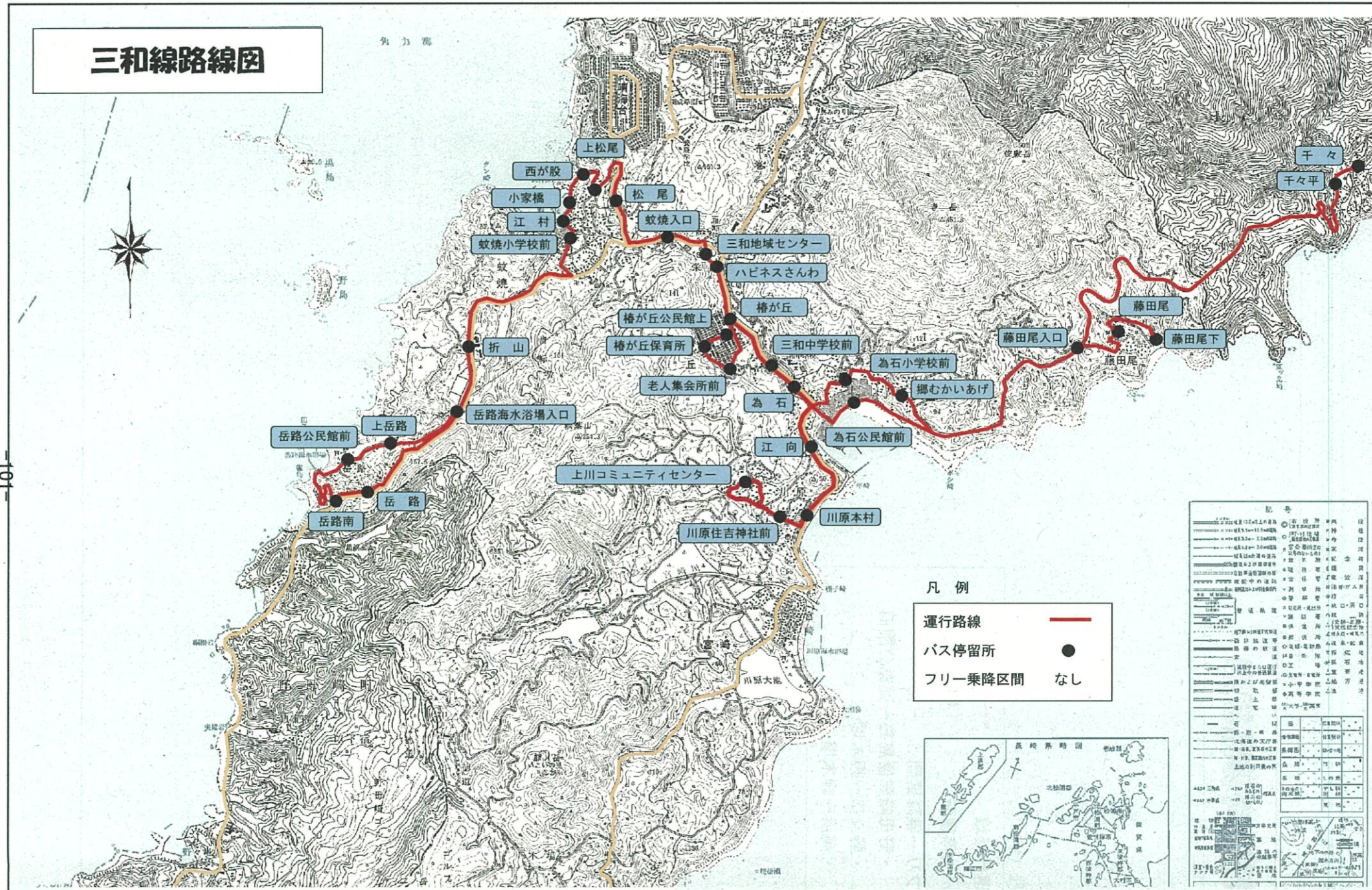


フリー乗降区間

一部

- ・ 栗辰～深浦
- ・ 長浜～馬手ヶ浦

三和線路線図



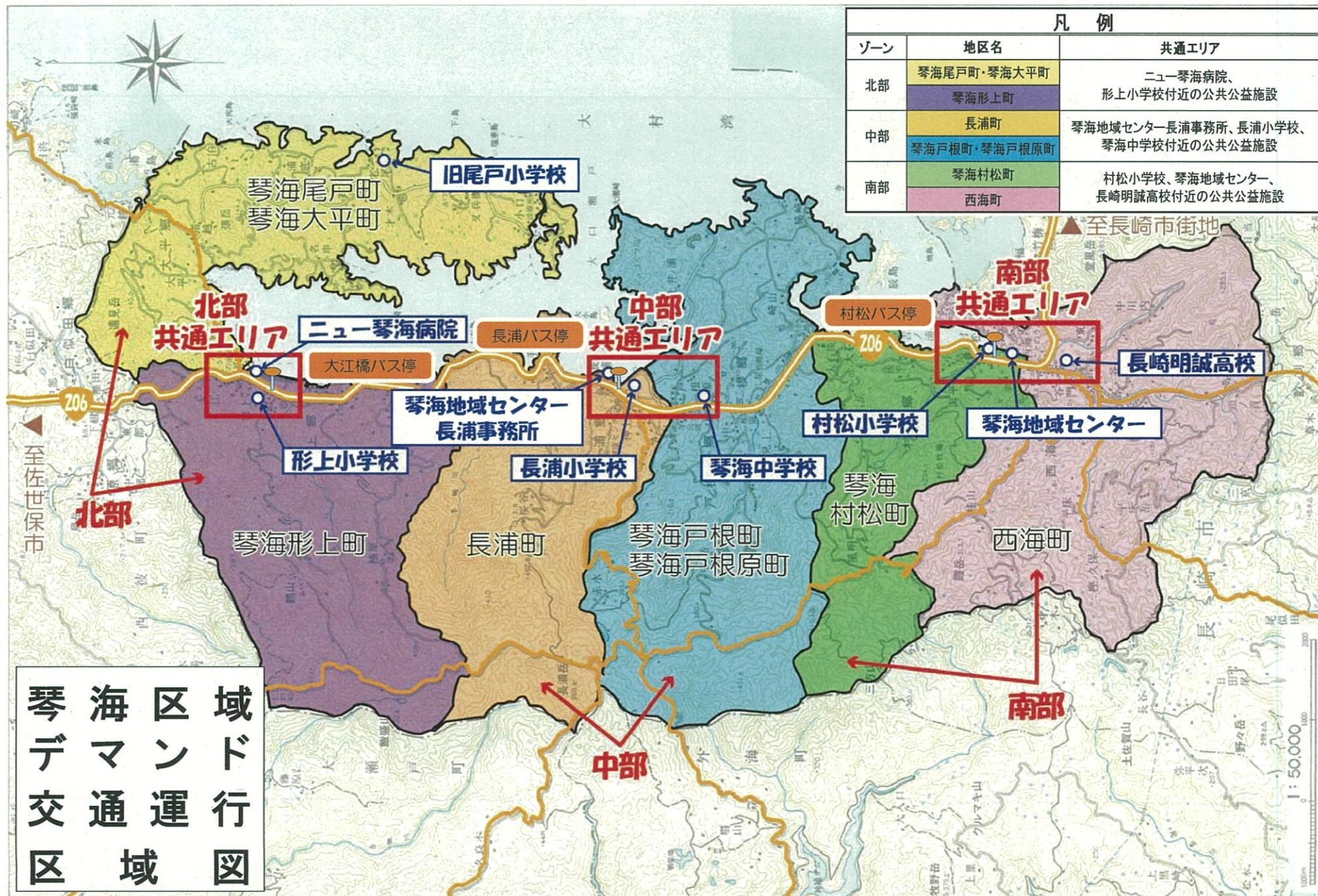
凡 例

バス停留所

フリー乗降区間 一部

- ・ 野母崎郵便局裏～運動公園前
- ・ 野々串～岬木場
- ・ 高浜～岬木場





琴海尾戸線路線図



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
254～ 255	8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画 総務費	6-3	景観推進費	千円 19,773

1 事業概要

地域固有の歴史、文化、自然等によって形成された多彩な物語を育む長崎らしい魅力ある景観を市民、事業者、行政が協働で守り、育て、活かす様々なまちづくりの取組みを推進する。

2 令和2年度事業内容

行政だけでなく、市民、事業者と一体となって質の高い景観まちづくりを推進するため、景観専門監と地域活動団体が連携して、市民や事業者、将来の担い手となる子どもたち、市職員を対象とした景観まちづくり教育を行う。

また、景観重要建造物の修繕等の助成及び「景観まちづくり刷新支援事業」の効果検証のための費用便益分析などを行う。

【主な事業】

・景観まちづくり教育	847 千円
・景観専門監設置	4,107 千円
・景観形成助成金	3,000 千円
・景観まちづくり刷新支援事業事後評価委託料	8,000 千円

(1) 景観まちづくり教育事業 847千円

ア 景観まちづくり講座（対象：市民・事業者）

市民や事業者等の意識醸成を図り、まち並みと調和した質の高い民間建築物や市民主体のまちづくり活動を推進するため、景観専門監と地域活動団体が連携して、市民や事業者を対象とした景観まちづくり講座を行う。

(ア) 市民向け講座（市民活動編）・・・ 年6回程度

市民と行政の協働による景観まちづくりの取組みを市民に広く周知するため、市政広報番組を活用して、景観専門監とまちづくり活動団体等が連携して 市民主体の取組みや行政と連携した取組みの事例紹介等を行う。

(イ) 市民向け講座（公共事業編）・・・ 年6回程度

長崎市の景観まちづくりの取組みを市民に広く周知するため、市政広報番組を活用して、景観専門監と市職員による 公共事業の事例紹介等を行う。

(ウ) 事業者向け講習会・・・ 年2回程度

建物のデザインが単体としてだけでなく、まち並みとの調和した良いデザインとなるように、事業者や市民を対象に景観専門監と長崎市景観整備機構（長崎県建築士会）が連携して、まち並みと調和のとれた景観づくりに関する講習会を開催する。

イ 景観教育（対象：小学生）

将来の担い手となる子どもたちが、「景観」を通して自分たちのまちの歴史・文化・自然等を知り、考え、郷土愛を高め、「地域に住みたい、戻りたい、貢献したい」と思う大人へと成長し、地元就職者の増加や若者流出の削減による定住人口の増加の一助を担うため、景観専門監と長崎市景観整備機構が連携して、小学生を対象とした景観教育を行う。

また、地域の子どもたちは地域で育てるため、まちづくり団体や地域の方の参画も促す。

（ア）対象校

- ・ 景観形成重点地区（東山手・南山手、中島川・寺町、館内・新地、平和公園、外海、深堀、高島）の小学校7校とする。
- ・ 年間2～3校程度（1校 2時間×3回＝計6時間 総合学習授業）

（イ）業務委託先

長崎市景観整備機構（長崎県建築士会長崎支部）

長崎市景観整備機構とは、

- ・ 良好な景観形成を担う団体として、景観法に基づき市が指定（平成25年1月）。
- ・ これまでも、市と協働で公共工事に係る市民ワークショップや町家改修相談などを行っている。

ウ 景観まちづくり研修（対象：市職員）

「良い公共空間」をつくる職員だけでなく、それを活かす、管理する職員を育てるため、全職員を対象に景観専門監による景観まちづくり研修を行う。

（ア）対象者

- ・ 市職員（技術系職員以外の職員も含む）

（イ）研修内容（年間6回程度）

- ・ 先進都市事例（公民連携、モビリティ、IoT等）の紹介、景観に関連した演習やワークショップ等

（2）景観専門監設置 4,107千円

- ・ 報酬費（週2回）・・・2,673千円
- ・ 旅費（実費弁償）・・・1,434千円

景観専門監制度は、長崎駅周辺整備事業、新市庁舎、MICE施設等の大型公共施設の建設など、「100年の長崎のまちの姿」つくる大事な時期を迎える中で、まちの質を高めるためには、公共空間のデザインの質だけでなく、それらをつくる職員の質を高めることが重要であることから、平成25年度より景観専門監を設置している。

景観専門監の役割は、質の高い公共空間となるようにデザインの指導やプロセスの管理を行う「景観の監修」と景観の質を高めるための技術と意識を持った職員を育てる「職員の育成」の2つである。景観専門監には、平成25年4月から九州大学の高尾忠志氏を任用している。

（3）景観形成助成金 3,000千円

長崎市は地域の景観形成に重要な建造物を「景観重要建造物」に指定し、所有者の適切な維持管理の支援として、修繕等に係る経費の一部を助成する。

- 例）建築物の修繕等に係る費用・・・助成率1/2（助成限度額200万円）
設計に係る費用・・・助成率1/3（助成限度額100万円）

(4) 景観まちづくり刷新支援事業 事後評価（費用便益）委託料 8,000千円

平成29年度から令和元年度の3年間で取り組んだ「景観まちづくり刷新支援事業」の効果検証のため、事後評価として費用便益の算定等を行う。

ア 費用便益

景観整備の費用便益は、整備に対する市民・観光客の負担金等の支払意思額や訪問頻度をアンケートにより調査し、その結果に世帯数や観光客数を反映させた便益額と、整備費や維持管理等の費用から費用便益を算出する。

(ア) アンケート調査

市民は市域に居住する人、観光客は整備地区を訪れた人を対象にアンケート調査

(イ) 便益の算定

a 仮想的市場評価法（CVM）・・・事業への支払意思額で評価する方法

整備前後の状況をもとに、市民は負担金、観光客は寄付金として支払っても良いと考える金額から便益を推計



整備前（平和公園）



整備後（平和公園）

b 旅行費用法（TCM）・・・事業により訪れたい人の旅行費用で評価する方法

整備前後の状況をもとに、市民・観光客が訪問したい頻度と旅行費用から便益を推計

(ウ) 費用便益分析

仮想的市場評価法(CVM)及び旅行費用法(TCM)により算出された「便益費」を整備等に係る工事費、用地費、維持管理費の「費用」で除することで費用便益比を算出する。

イ 交通量調査

歩行者交通量を調査し、整備前後の交通量を比較する。

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金※1	地方債	その他※2	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
19,773	—	1,500	—	6,834	11,439

※1：長崎県21世紀まちづくり推進総合補助金

※2：屋外広告物許可申請手数料等

予 算 説 明 書					事 業 名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
254～ 255	8 土木費	5 都市 計画費	1 都市計画 総務費	8-1	【単独】新幹線整備推進事業費 九州新幹線西九州ルート建設事業費負担金	千円 836,450

1 事業概要

(1) 通常分

九州新幹線西九州ルート（武雄温泉・長崎間）の建設に当たり、全国新幹線鉄道整備法第13条の規定に基づき、長崎県が負担すべき負担金の一部を長崎市が負担する。

○負担区間

1. 361km（長崎駅部～浜平2丁目付近（市街化区域と市街化調整区域との界））

○負担率

負担区間における長崎県負担額の20%

全国新幹線鉄道整備法第13条（抜粋）

- 新幹線鉄道の建設に関する工事に要する費用は、国及び当該新幹線鉄道の存する都道府県が負担する。
- 都道府県は、その区域内の市町村で当該新幹線鉄道の建設により利益を受けるものに対し、その利益を受ける限度において、当該都道府県が負担すべき負担金の一部を負担させることができる。
- 市町村が負担すべき金額は、当該市町村の意見を聴いた上、当該都道府県の議会の議決を経て定めなければならない。

(2) グレードアップ分

「長崎駅舎・駅前広場等デザイン検討会議」で示された新幹線駅舎上家デザインにかかる基本的な方向性を、鉄道・運輸機構が施工する長崎駅部の工事に反映させるに当たり、追加費用が生じるため、その経費を県とともに負担する。

○負担箇所

長崎駅部（高架橋下部、駅舎（上屋、通路、柵外コンコース等））

○負担率

負担箇所における長崎県負担額の1/2（県：市＝1：1）

2 令和2年度事業内容

(1) 通常分

ア 負担金

○事業内容

工事（土木・建築）

長崎駅高架橋工事、長崎駅舎建築工事など

○長崎市負担金

523,400千円

≒7,851,000千円(負担区間の事業費)×1/3(県負担率)×0.2(市負担率)

(2) グレードアップ分

ア 負担金

○事業内容

駅舎工事（上屋、通路、柵外コンコース等）

○長崎市負担金

313,050千円

3 財源内訳

区 分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債 ※1	その他 ※2	一般財源
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
通常分	523,400	—	—	471,000	—	52,400
グレードアップ分	313,050	—	—	104,200	174,040	34,810
合 計	836,450	—	—	575,200	174,040	87,210

※1：通常分 一般単独事業債 充当率90%（交付税措置率50%）

グレードアップ分 一般単独事業債 充当率75%

※2：まちづくり基金繰入金 174,040千円

4 長崎市負担額（見込）

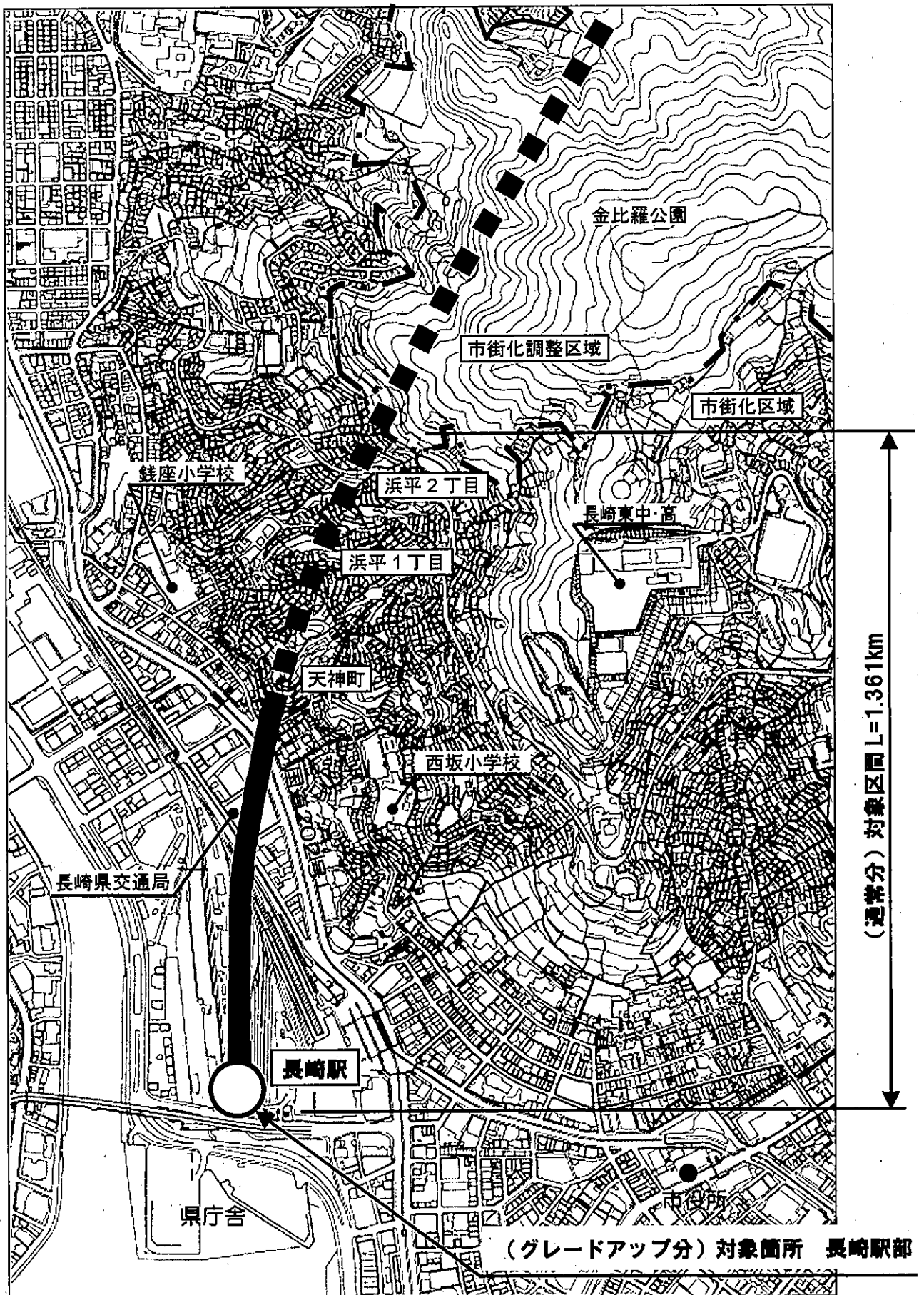
（単位：億円）

年度	H24～R1	R2	R3～R4	合計
通常分	16.7	5.2	11.3	33.2
グレードアップ分	4.0	3.1	1.6	8.7
合計(※1)	20.7	8.4(※2)	12.8(※2)	41.9

※1：H24～H30は決算額、R1以降は見込額

※2：端数処理により合計が一致しない

【負担区間・箇所 位置図】



【長崎駅舎のデザイン】

1. 基本的な方向性

(1) 屋根の形式

港に向かうホーム空間とするため、新幹線と在来線を一体的な屋根で覆う大屋根形式とする。

(2) 屋根を支える柱の本数

視界を遮るものを減らし、海や港の存在を感じられる空間とするため、柱の本数を通常の4本から2本とする。

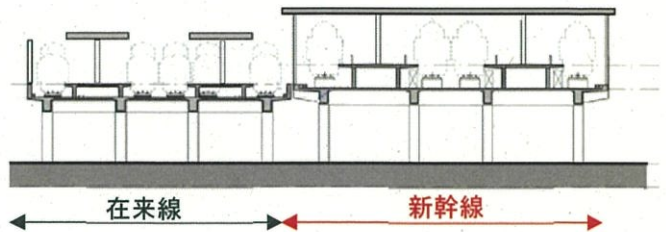
(3) 屋根の材質

海辺に相応しい明るいホーム空間とし、夜景への貢献も考慮して、主たる材質に膜を用いる。

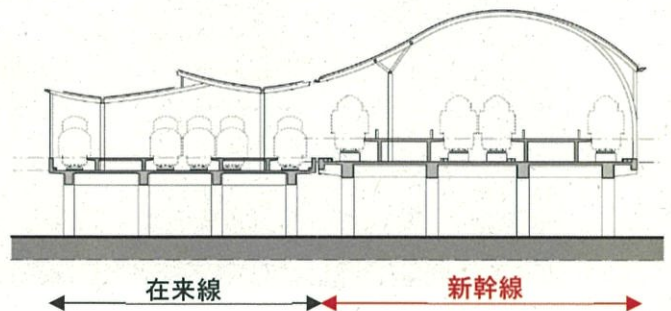
(4) 駅南端の視点場としての活用

港が目前にある終着駅という特性を活かし、駅南端を港方面への視点場とするため、通路を整備する。

【標準的な屋根：4柱式、金属屋根】

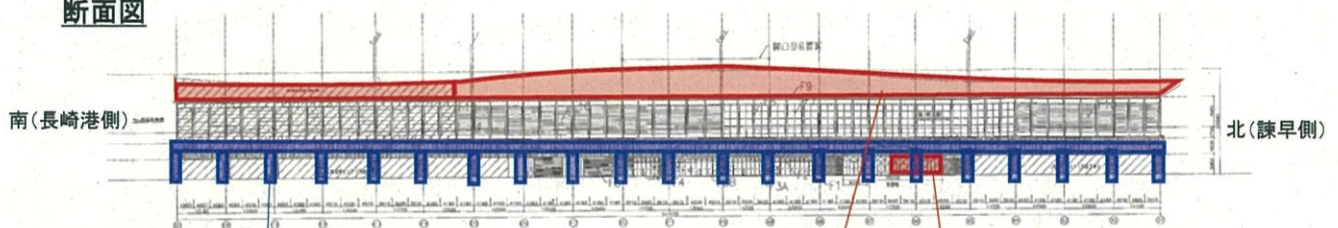


【長崎駅舎の屋根：2柱式、膜屋根】

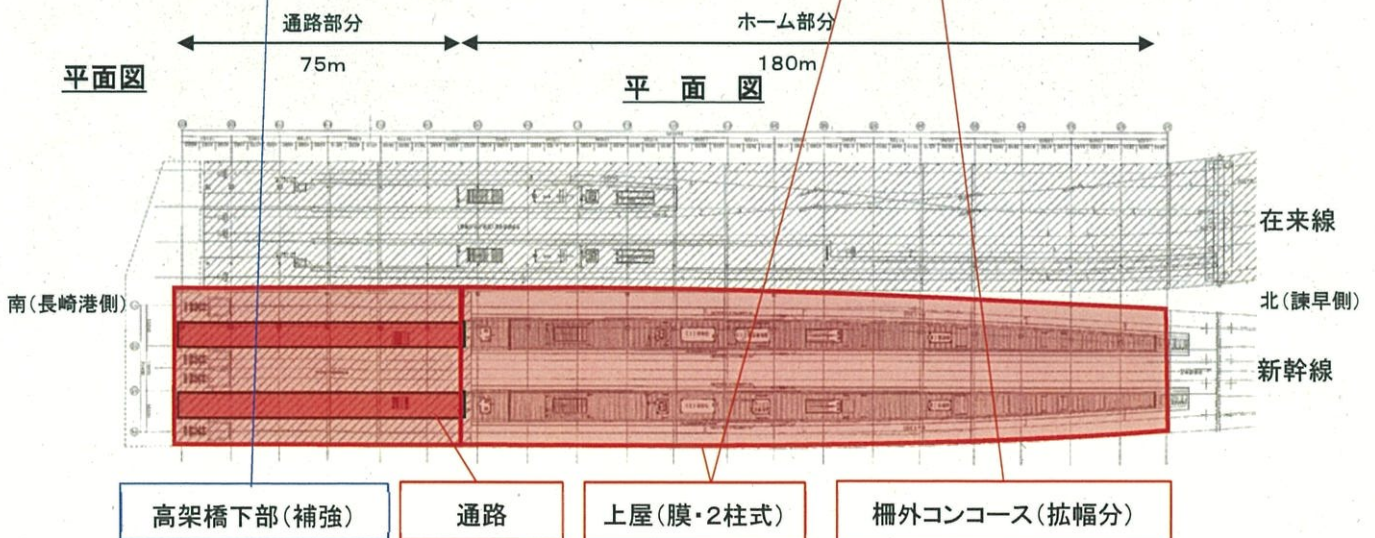


グレードアップ分の負担範囲

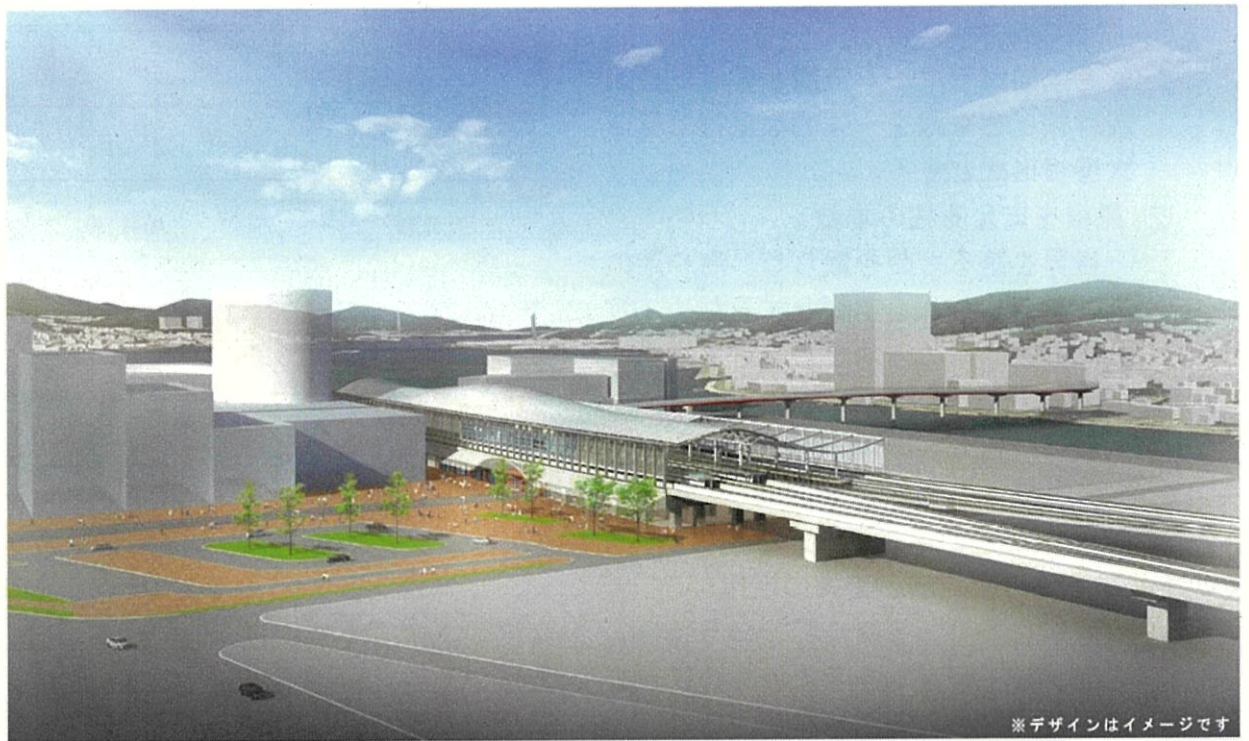
断面図



平面図



2. 新幹線長崎駅舎のイメージ



【参考資料】

九州新幹線西九州ルート概要

1. 建設主体

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

2. 計画概要（武雄温泉～長崎間）

延長 : 約 66km

経過地 : 武雄市、嬉野市、東彼杵町、大村市、諫早市、長崎市

駅の位置 : 武雄温泉駅（併設）、（仮称）嬉野温泉駅（新設）、
（仮称）新大村駅（新設）、諫早駅（併設）、長崎駅（併設）

線路規格 : 標準軌（フル規格）

事業費 : 約 6,197 億円（大町～高橋間の複線化を含む）

事業期間 : 工事実施計画（その1）認可の日から概ね 10 年程度

進捗率（武雄温泉・長崎間） : 約 72%〔事業費ベース、令和元年度末見込み〕

※所要時間（博多・長崎間）:

現 行（在来線特急） 最速 1 時間 48 分

対面乗換方式（在来線特急＋フル規格新幹線）約 1 時間 20 分（28 分短縮）

全線フル規格 約 51 分（57 分短縮）

3. 主な経緯

昭和 48 年 11 月 : 整備計画決定（起点 : 福岡市、終点 : 長崎市、経過地 : 佐賀市）

平成 24 年 06 月 : 工事実施計画（その1）認可（武雄温泉・長崎間）

平成 27 年 01 月 : 政府・与党申合せ（開業時期を平成 34 年度から可能な限り前倒し）

平成 28 年 03 月 : 九州新幹線西九州ルートの開業のあり方に係る合意

平成 30 年 07 月 : 与党 PT 検討委員会において FGT を断念する旨表明

令和 01 年 08 月 : 与党 PT 検討委員会において新鳥栖～武雄温泉間は「フル規格（複線）」
により整備することが適当と示される

4. 最近の動向

令和元年 12 月 11 日 : 赤羽 国土交通大臣・佐賀県 山口知事 会談

- ・佐賀県 山口知事「協議のありかたについて事務的なレベルで確認することで一致した」

令和元年 12 月 18 日 : 与党 PT 検討委員会

- ・岸田座長「鉄道局からは令和 2 年度の環境アセス費用について、計上が困難であるとの報告があった」

令和 2 年 1 月 16 日 : 国土交通省から佐賀県への提案

- ・新鳥栖～武雄温泉間の整備方式について、国土交通省より佐賀県に対し、フル規格を含めた 5 つの方式に関し協議することを提案
- ・国土交通省が要望した 1 月中の協議入りについて、佐賀県は否定

九州新幹線西九州ルート (長崎ルート)概要図 (2022年度暫定開業時)



博多～長崎間の所要時間（暫定開業時）【国土交通省試算】

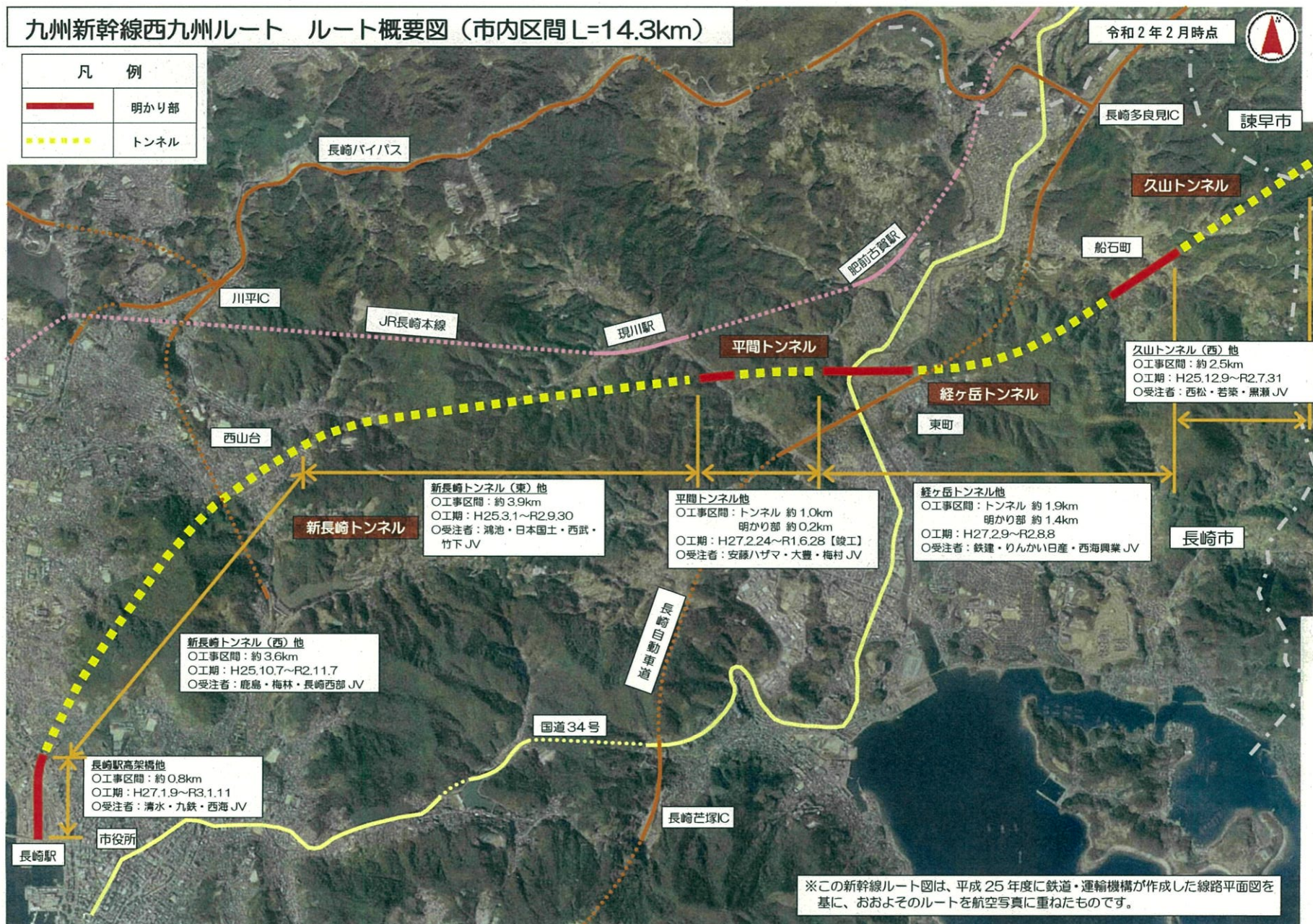
最速 1 時間 20 分（現行「特急かもめ」最速 1 時間 48 分より 28 分短縮）

九州新幹線西九州ルート ルート概要図（市内区間 L=14.3km）

令和2年2月時点



凡 例	
—	明かり部
- - -	トンネル



※この新幹線ルート図は、平成25年度に鉄道・運輸機構が作成した線路平面図を基に、おおよそのルートを航空写真に重ねたものです。

【長崎駅周辺 工事状況（R2.2.5撮影）】



アミュプラザから北部方面を望む



県交通局（八千代町）から天神町方面を望む

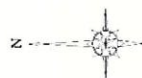
長崎駅周辺の各事業のスケジュール

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
新幹線				開業(R4年度)	
連続立体交差(高架化)	完了(R2.3)				
“(軌道撤去・側道整備)		完了(R3年度)			
土地区画整理(駅西側)	仮供用	完成(R2年秋頃)			
“(国道202号)					
“(土壌汚染対策)					
“(交通広場)				完成(R4年度)	
“(東西軸)			一部完成(R4年度)	完成(R5年度)	
“(多目的広場)				完成(R5年度末)	
雨水貯留管					
埋設管					
出島メッセ長崎			完成(R3.11)		
NBC			完成(R3.11)		
長崎警察署	完成(R元年度末)				
駐輪場		完成(R2年夏頃)			
新駅ビル(JR九州)				部分開業(R4年度末)	
				※R7年度グランドオープン予定	

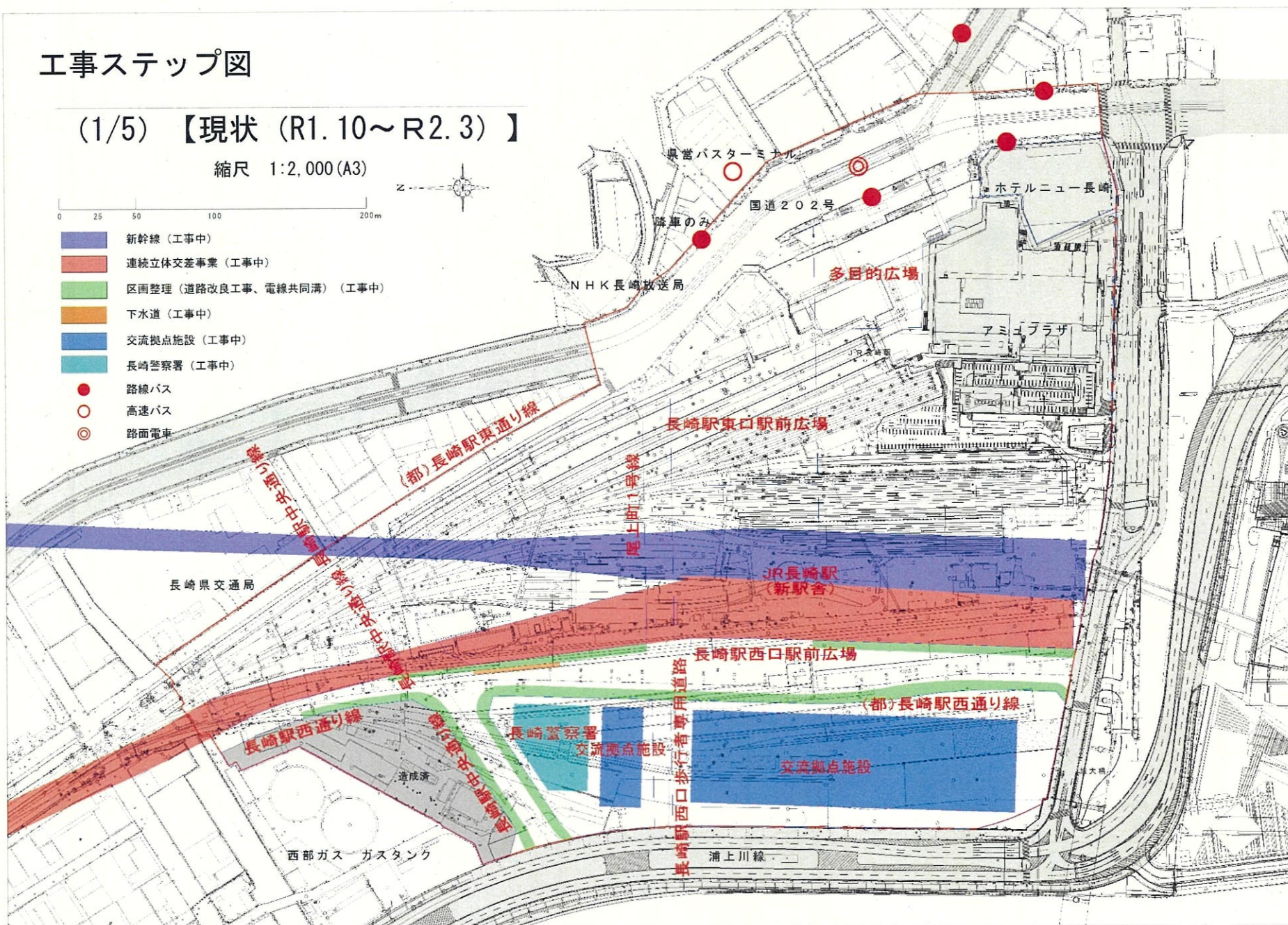
工事ステップ図

(1/5) 【現状 (R1.10~R2.3)】

縮尺 1:2,000 (A3)

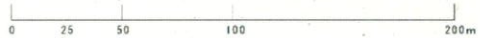


-
- | | |
|---|-------------------------|
|  | 新幹線（工事中） |
|  | 連続立体交差事業（工事中） |
|  | 区画整理（道路改良工事、電線共同溝）（工事中） |
|  | 下水道（工事中） |
|  | 交流拠点施設（工事中） |
|  | 長崎警察署（工事中） |
|  | 路線バス |
|  | 高速バス |
|  | 路面電車 |



(2/5) 2020年度【在来線開業 (R2.4~)】

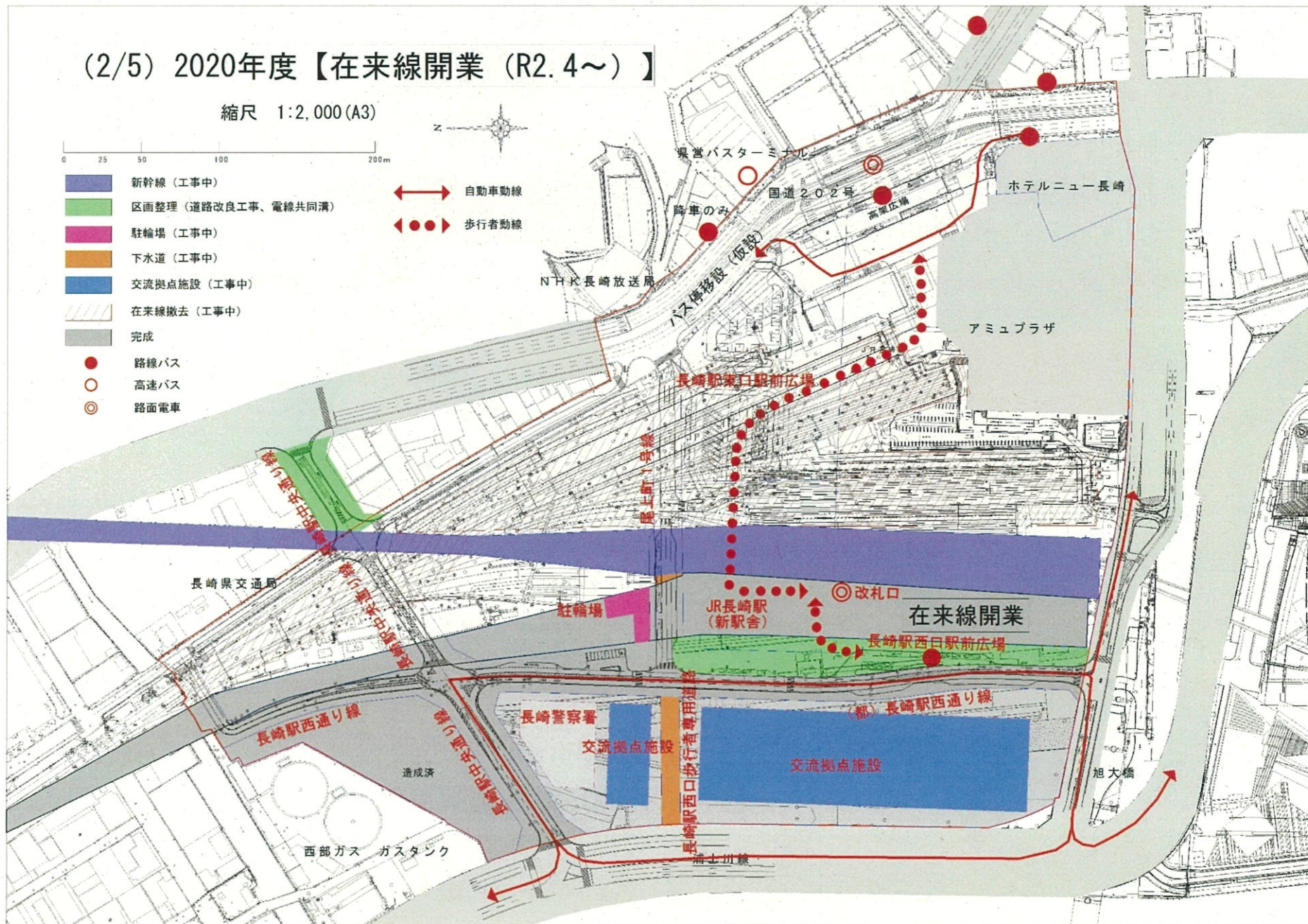
縮尺 1:2,000 (A3)



- | | |
|---|--------------------|
|  | 新幹線（工事中） |
|  | 区画整理（道路改良工事、電線共同溝） |
|  | 駐輪場（工事中） |
|  | 下水道（工事中） |
|  | 交流拠点施設（工事中） |
|  | 在来線撤去（工事中） |
|  | 完成 |

-  自動車動線
 歩行者動線

- 路線バス
- 高速バス
- ◎ 路面電車



(3/5) 2021年度【交流拠点施設開業 (R3.11~)】

- 新幹線(高架下開発) (工事中)
- 区画整理(広場、道路、電線共同溝) (工事中)
- 区画整理(宅地造成) (工事中)
- 上水道(工事中)
- 下水道(工事中)
- JR九州(新駅ビル) (工事中想定)
- 長崎県交通局(バスターミナル) (工事中)
- 完成
- 路線バス
- 高速バス
- 路面電車

縮尺 1:2,000 (A3)

0 25 50 100

自動車動線

歩行者動線

NHK長崎放送局

県営バスターミナル

降車のみ

国道202号

ホテルニュー長崎

アミュプラザ

新駅ビル(1期工事)

長崎駅東口駅前広場

尾上町1号線

バスターミナル

駐輪場

JR長崎駅(新駅舎)

改札口

長崎駅西口駅前広場

(都)長崎駅西通り線

交流拠点施設開業

旭大橋

長崎警察署

造成済

西部ガス ガスタンク

長崎県交通局

長崎駅西通り線

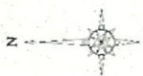
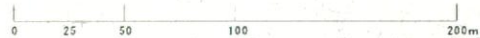
長崎駅西口駅前広場

長崎駅東口駅前広場

長崎駅東通り線

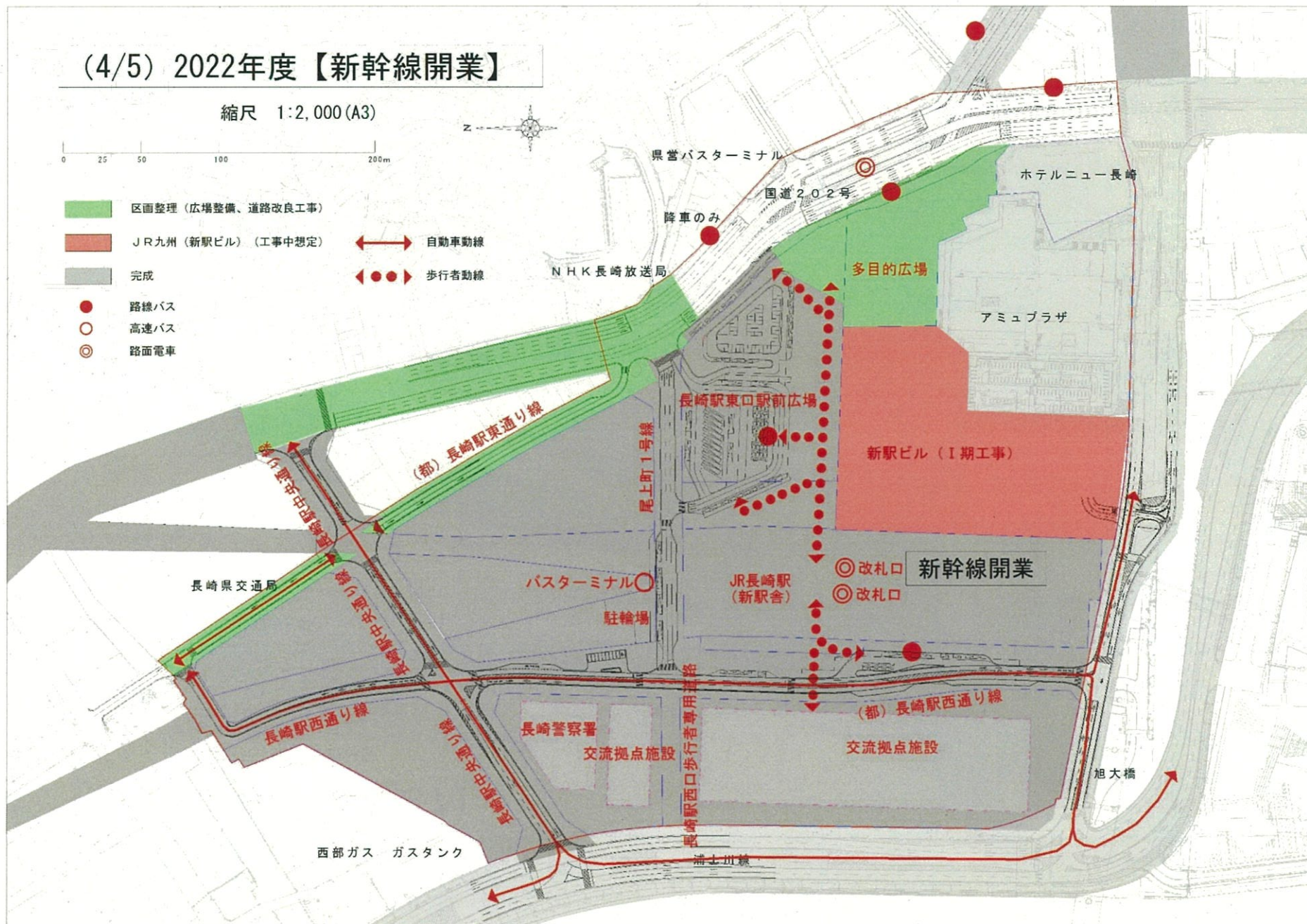
(4/5) 2022年度【新幹線開業】

縮尺 1:2,000 (A3)



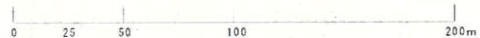
- 区画整理（広場整備、道路改良工事）
 ■ JR九州（新駅ビル）（工事中想定）
 ■ 完成
 ● 路線バス
 ○ 高速バス
 ⊙ 路面電車

自動車動線
 歩行者動線



(5/5) 2023年度【整備完了】

縮尺 1:2,000 (A3)



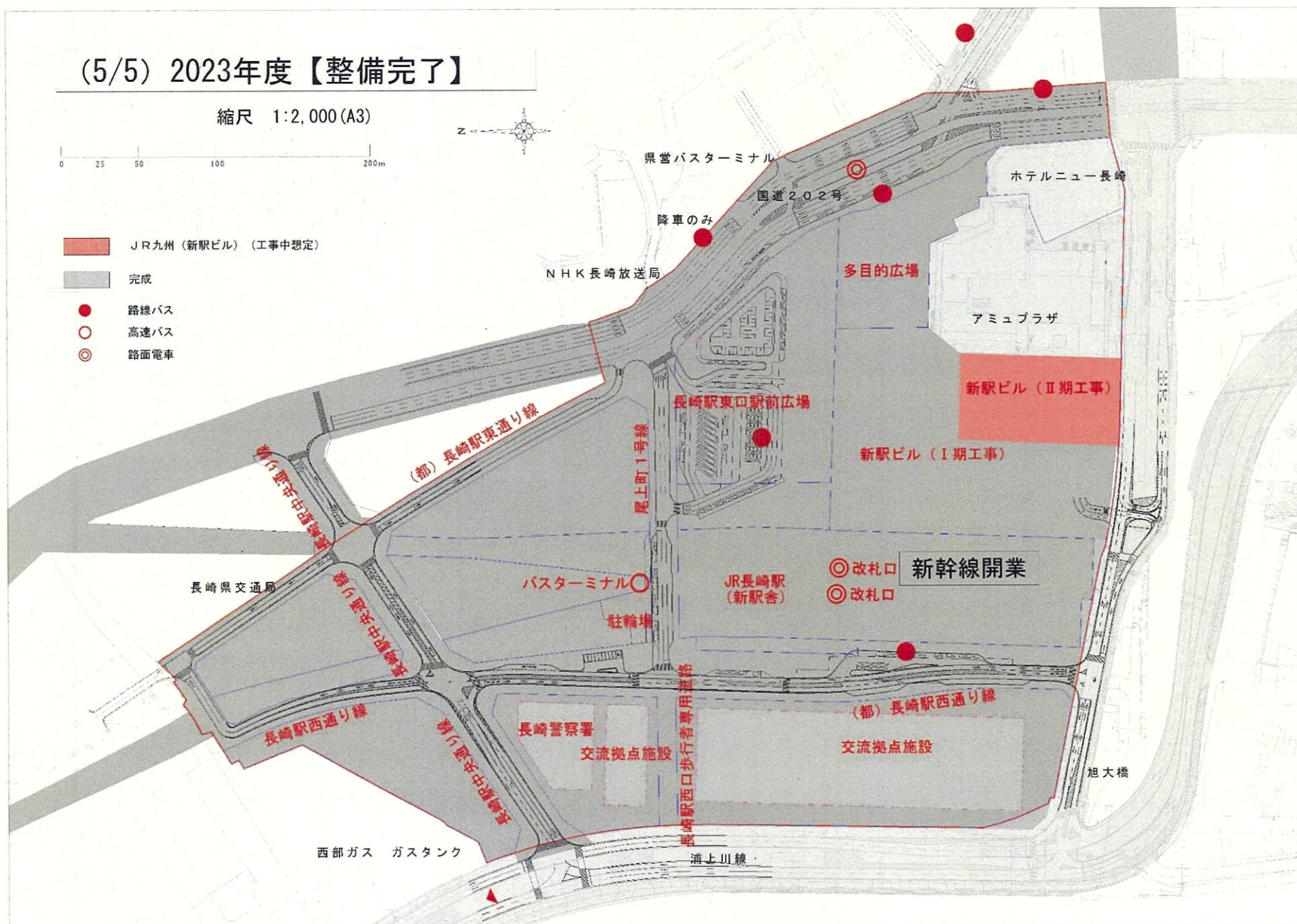
■ JR九州（新駅ビル）（工事中想定）

■ 完成

● 路線バス

○ 高速バス

◎ 路面電車



予 算 説 明 書					事 業 名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
254～ 255	8 土木費	5 都市計画費	2 都市開発費	3-1	長崎駅周辺エリア デザイン検討費	千円 36,466

1 事業概要

長崎駅周辺エリアを対象として、「新しい長崎の玄関口」にふさわしい魅力あるまちなみ景観と機能的な都市空間の創出を図ることを目的に、専門家などで構成する「長崎駅周辺エリアデザイン調整会議」、「長崎駅舎・駅前広場等デザイン検討会議」において、長崎駅周辺エリア内の施設相互間のデザイン調整や長崎駅舎・駅前広場等のデザイン検討を行う。

2 令和2年度事業内容

(1) 長崎駅周辺整備に係る業務委託費

ア 事業内容

駅前広場や街路等、長崎駅周辺の将来の姿を市民や関係機関へ分かりやすく説明するため、VR（3次元の立体映像）を作成する。

また、駅前広場でにぎわいを生み出し、そのにぎわいが周辺地域に効果的に波及するような駅前広場の利活用方法や運営に係る検討を行う。

イ 事業費

19,000千円

(2) 長崎駅舎デザイン検討費負担金

ア 事業内容

「長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画」で示された駅舎デザインをJR九州、鉄道・運輸機構が実施する設計に反映させるため、設計意図を伝達するとともに構造面、意匠面の検討を行うための業務に要する費用を県とともに負担するものである。

イ 負担金

県・市が共同して実施（県発注の業務委託費の1/2）

長崎市負担金 $18,000\text{千円} \times 1/2 = 9,000\text{千円}$

(3) 市民への周知活動

ア 事業内容

計画及び設計の内容や整備の進捗状況を市民等に説明し、関心を深めてもらうため、現場見学会等を開催する。

イ 事業費

会場借上料、印刷製本費など 400千円

【現場見学会の状況（R2.1.26開催）】



(4) 事務費

長崎駅周辺エリアデザイン調整会議等に係る会場借上料、
旅費など 8,066千円

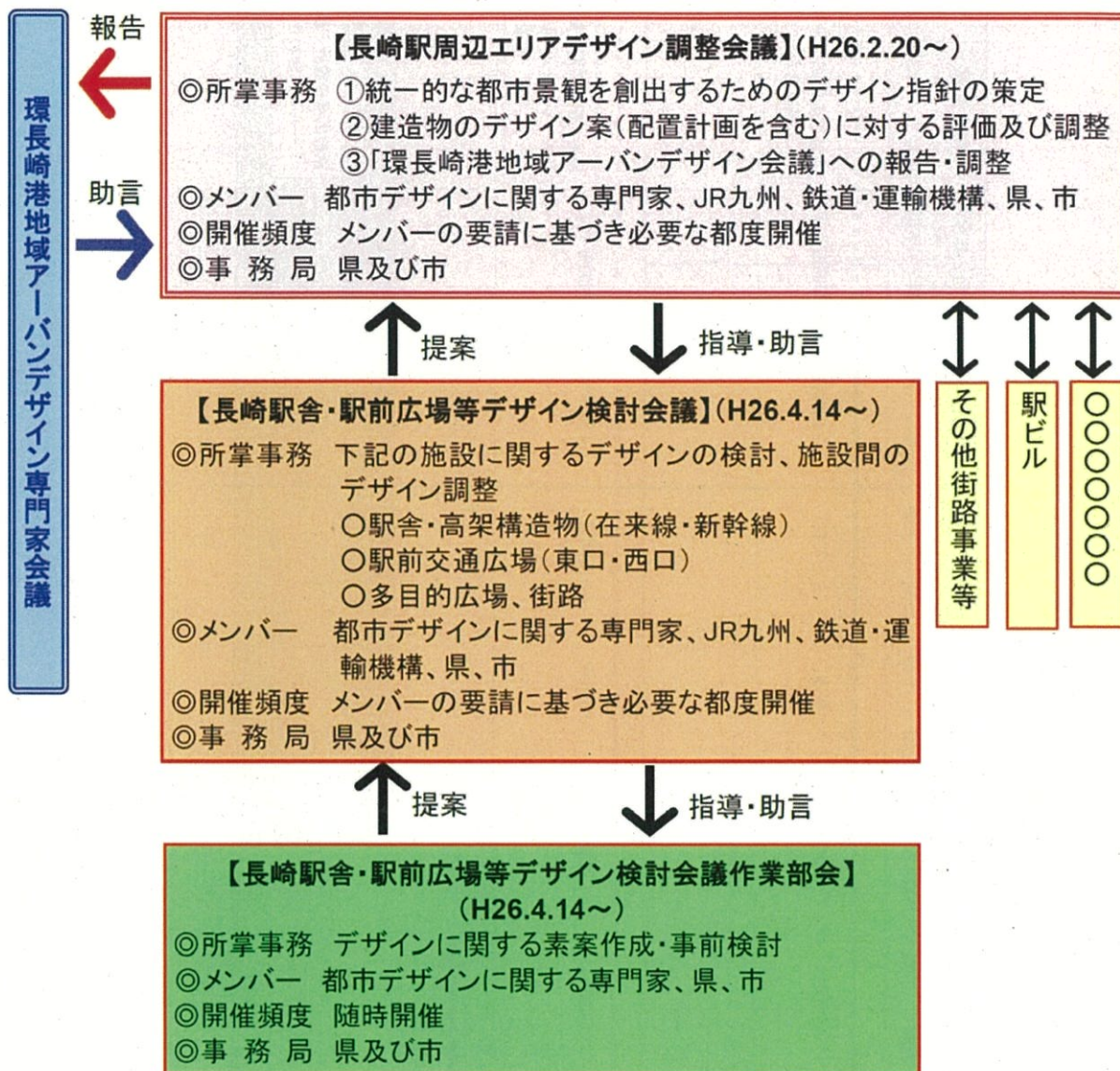
3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
36,466	—	—	—	11,025	25,441

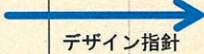
※ 県からの受入金 対象経費（業務委託費、会議の開催費等）の1/2

【参考資料】

1. 長崎駅周辺エリアデザインの検討体制図



2. エリアデザイン検討に係るスケジュール

項 目	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
長崎駅周辺エリアデザイン調整会議 (H26. 2. 20～)		◎設置																			
			(5回開催)																		
			(2回開催)																		
			(1回開催)																		
			(1回開催)																		
			(2回開催)																		
			(3回開催)																		
			(2回開催予定)																		
			各施設の計画・設計スケジュール等に合わせて適宜開催																		
デザイン指針作成																					
			デザイン指針																		
長崎駅舎・駅前広場等 デザイン検討会議 (H26. 04. 14～)		◎設置																			
			(5回開催)																		
			(3回開催)																		
			(1回開催)																		
			(2回開催)																		
			(2回開催)																		
			(4回開催)																		
			(4回開催予定)																		
			駅舎・駅前広場・街路の計画・設計スケジュール等に合わせて適宜開催																		
長崎駅舎・駅前広場等 デザイン基本計画作成																					
			デザイン基本計画																		
まちづくり シンポジウム			●	●		●										(1回開催予定)					
駅前広場 ワークショップ 現場見学会								●	●	●		●		●		(2回開催予定)					
			駅前広場の設計・整備のスケジュール等に合わせて適宜開催																		

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
256～ 257	8 土木費	5 都市計画費	2 都市開発費	6-1	【補助】市街地 再開発事業費 新大工町地区	千円 2,079,700

1 事業概要

本事業は、新大工町地区において、玉屋百貨店及び周辺地権者によって取り組みが進められている市街地再開発事業である。

長崎市としては、当該地区の商業活性化及び中心市街地全体の賑わいの再生等を図るため、社会資本整備総合交付金を活用しながら、国、県、市一体となって、当該市街地再開発事業を支援するものである。

施行者			新大工町地区市街地再開発組合
施行区域			約 0.7ha
総事業費（概算）			約 171.2 億円
事業期間（予定）			平成 25 年度～令和 4 年度
延べ床面積（予定）			約 48,000 m ²
主な用途 （予定）	北街区	商業施設	3 層（約 7,700 m ² ）
		住 宅	23 層（約 25,700 m ² ） 約 240 戸
		駐 車 場	地下 1 階（52 台） 駐車場棟（56 台）
	南街区	業務施設	3 層（約 2,300 m ² ）〔1 階の一部も含む〕
		駐 車 場	9 層（231 台）〔合計（北＋南）：339 台〕

位置図



2 令和2年度事業内容

(1) 予算内訳

ア 調査設計計画費	38,952 千円
施設整備の工事監理、権利変換計画の登記等	
イ 土地整備費	1,214,156 千円
既存建物の解体、補償費	
ウ 建築工事費（共同施設整備）	825,014 千円
建築工事	
エ 事務費	1,578 千円

3 財源内訳

総事業費 ①	予算計上額 ②	財源内訳				事業者負担額 ①－②
		国庫支出金	県支出金	地方債※ ¹	一般財源	
千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
3,975,408	2,079,700	1,039,061	356,272	605,400	78,967	1,895,708

※1：起債充当率 対象経費の90%（公共事業等債）（交付税措置率22.2%）

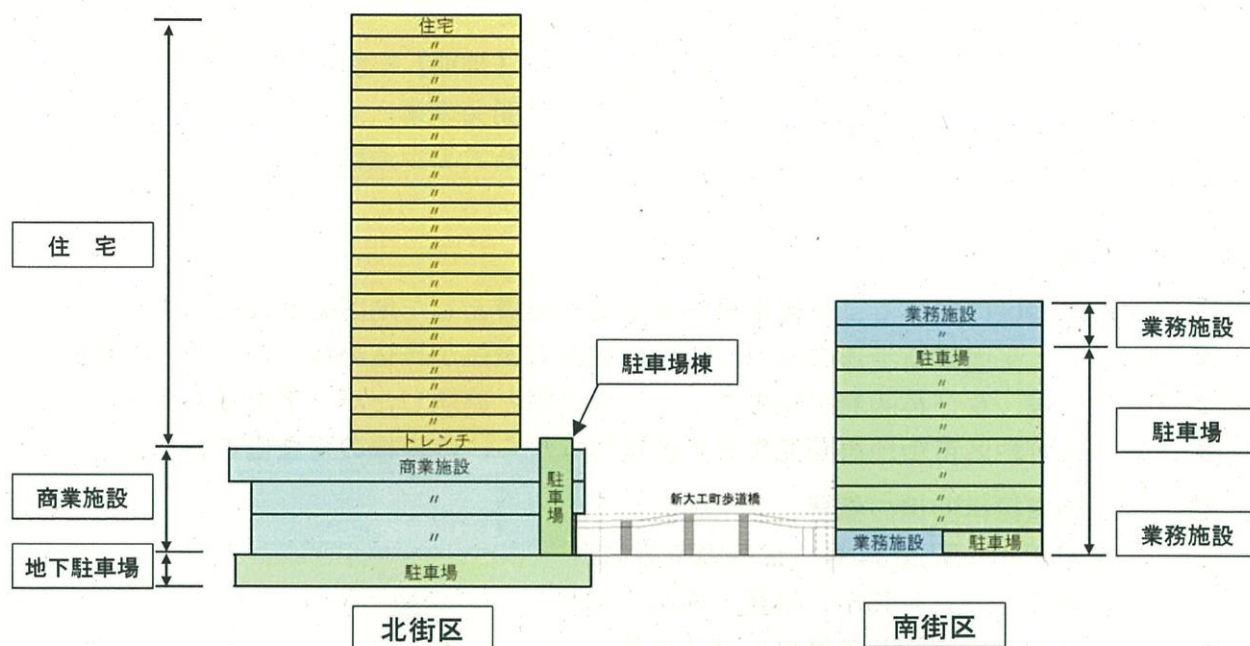
4 これまでの主な経緯

平成26年1月17日	新大工町地区市街地再開発準備組合設立
平成27年7月14日	都市計画決定（市街地再開発事業・高度利用地区）
平成28年9月12日	都市計画変更（市街地再開発事業・高度利用地区）、都市計画決定（地区計画）
平成30年1月26日	事業計画認可
平成30年1月31日	特定業務代行者（設計・施工等の業務を代行する者）決定
平成30年2月1日	本組合設立
平成31年3月25日	権利変換計画認可
令和元年8月29日	起工式

5 今後のスケジュール（予定）

事業内容\年度		H30	R1	R2	R3	R4
調査設計 計画費	実施設計	←→				
	工事監理		←→	←→	←→	←→
	登記（土地・建物）		↔		↔	↔
土地整備費	補償費		←→	←→	←→	←→
	既存建物の解体		←→	←→		
建築工事費	本体工事 （北街区）			←→	←→	←→
	本体工事 （南街区）		←→	←→		

〔主な用途の配置イメージ図〕



〔イメージパース〕 ※現段階の想定に基づくものであり、今後変更になる可能性があります。

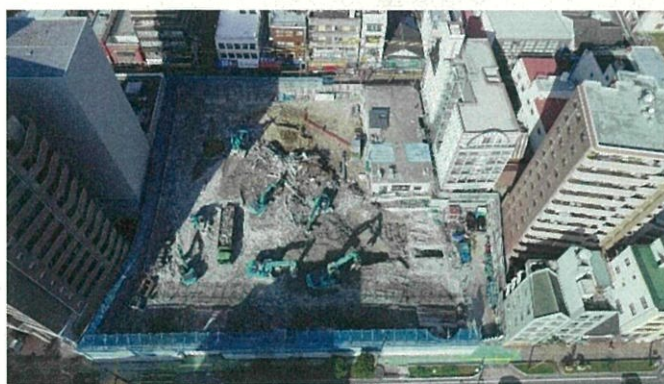


全体図

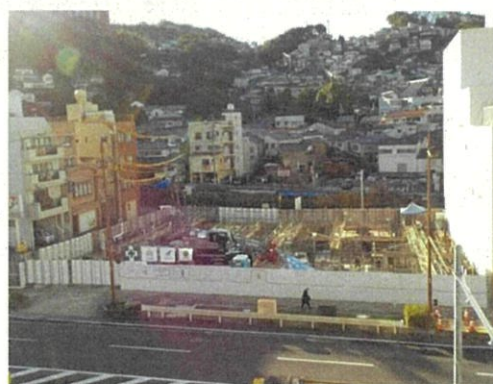


北街区（国道側より）

〔現況〕



北街区（既存建物解体中）



南街区（建物基礎工事中）

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
256～ 257	8 土木費	5 都市計画費	2 都市開発費	6-2	【補助】市街地再 開発事業 新大工歩道橋	千円 65,000

1 事業概要

新大工町地区において、市街地再開発事業を契機とした地区の活性化により、歩行者が増加し、平面横断歩道のみでは安全な横断の確保が見込めないことから、歩行者の安全性確保、及び再開発ビルのエレベータ施設と連携したバリアフリー化を図るため、新大工町地区市街地再開発事業と連携しながら、歩道橋の再整備を行う。

○新大工歩道橋再整備の概要

- ・工事箇所 国道34号（旧長崎玉屋前）
- ・工事延長 L≒40m、幅員：W=3m
- ・事業期間 令和2年度～令和3年度
- ・全体事業費 436,000千円

2 令和2年度事業内容

(1) 予算内訳

ア 委託料

測量調査設計 65,000千円

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他※3	一般財源
千円 65,000	千円 13,500	千円 —	千円 12,100	千円 38,000	千円 1,400

※1：補助率50%（補助対象：27,000千円）〔「事業費」から「その他」を除いた額〕

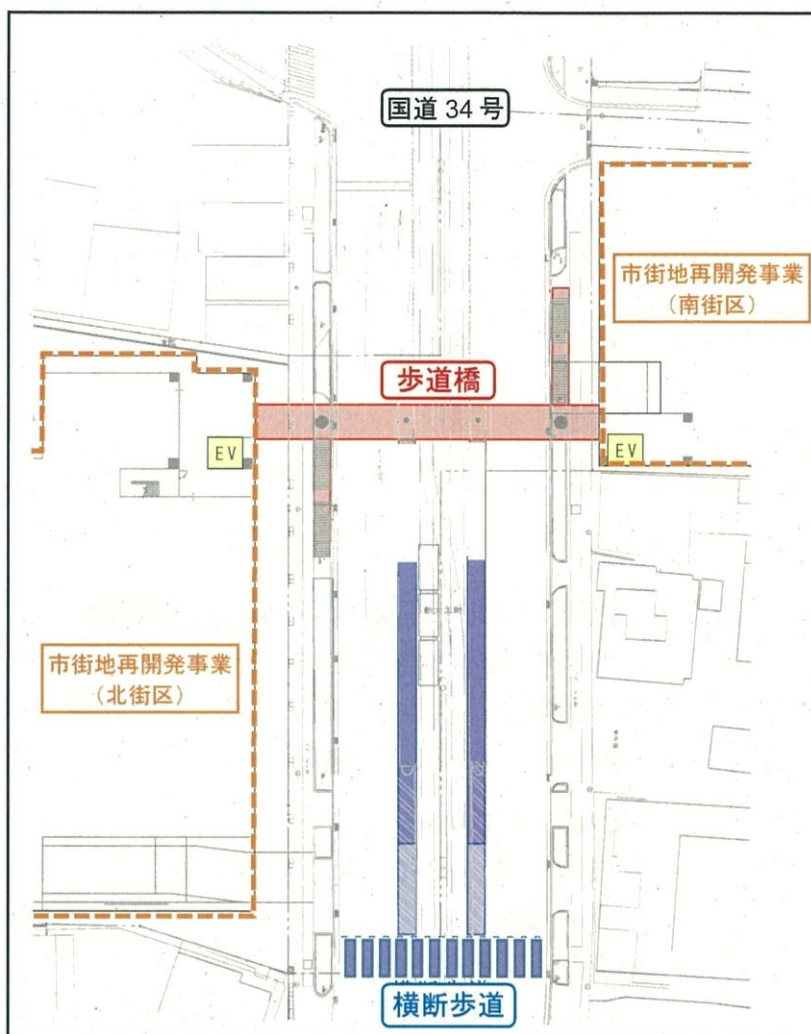
※2：起債充当率90%（公共事業等債）（交付税措置率22.2%）

※3：新大工町地区市街地再開発組合負担金

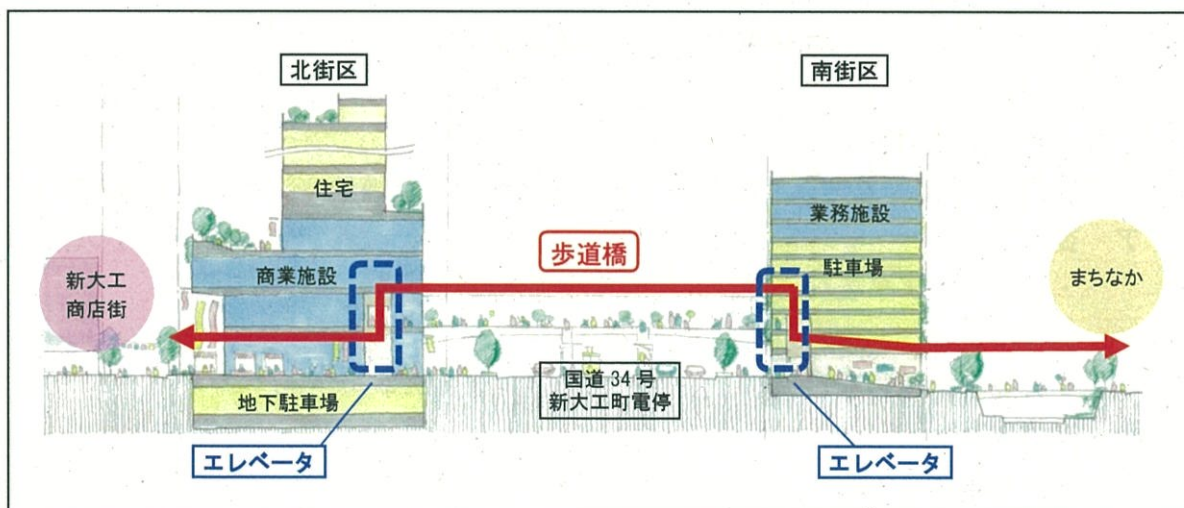
4 スケジュール（予定）

事業内容\年度	令和2年度	令和3年度
測量調査設計	←→	
設置工事		←→

○位置図



○新大工歩道橋イメージ



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
256～ 257	8 土木費	5 都 市 計画費	2 都 市 開発費	8-1	【補助】土地区画整理事業費 長崎駅周辺地区 (予算補助)	千円 1,316,000
				10-2	【単独】土地区画整理事業費 長崎駅周辺地区	千円 923,000
合 計						千円 2,239,000

1 事業概要

JR長崎本線連続立体交差事業により移転される車両基地の跡地などを含めて土地区画整理事業を施行することにより、新幹線を含む鉄道施設の受け皿整備を行うとともに、道路や駅前交通広場、多目的広場などの基盤整備と土地利用の転換、有効利用を図り、国際観光文化都市長崎の玄関口にふさわしい都市拠点を形成する。

- ・ 施行地区面積 A＝約19.2ha
- ・ 事業期間 平成21年度～令和5年度（15年間）
- ・ 事業費 約154億円
- ・ 都市計画道路 4路線 L＝1,330m W＝12～26m
- ・ 駅前交通広場 2箇所 （東口：約15,200㎡、西口：約2,600㎡）
- ・ 区画道路 1路線 L＝83m W＝12m
- ・ 多目的広場 1箇所 A＝6,900㎡
- ・ 減歩率 約38%（平均）
- ・ 進捗率 約34%（令和元年度末見込み）

2 令和2年度事業内容

- (1) 【補助】土地区画整理事業費 長崎駅周辺地区（予算補助） 1,316,000千円
- ア 委託料 393,000千円
- ・ 軌道移設工事委託、電線共同溝移設工事委託、建物撤去工事委託
- イ 工事請負費 152,000千円
- ・ 東通り線道路改良工事、国道202号道路改良工事
- ウ 補償費 760,000千円
- ・ 建物補償（3棟）
- エ 事務費 11,000千円
- ・ 関係者協議等に係る旅費、消耗品費、印刷製本費 等

(2)【単独】土地区画整理事業費 長崎駅周辺地区	923,000千円
ア 委託料	112,760千円
・ 東口駅前広場設計委託、軌道移設工事委託、電線共同溝移設工事委託、 その他（除草、システム保守等）	
イ 工事請負費	425,700千円
・ 東通り線道路改良工事、土壌汚染対策工事、電線共同溝整備工事、 国道202号道路改良工事	
ウ 負担金	347,000千円
・ 上下水道工事費負担金	
エ 補償費	31,800千円
・ 仮換地指定に伴う補償（1件）	
オ 事務費	5,740千円
・ 管理等委託料、関係者協議等に係る旅費、修繕料 等	

3 財源内訳

区 分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金 ※1	県支出金	地方債 ※2	その他 ※3	一般財源 ※4
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
補 助	1,316,000	718,300	—	264,400	293,850	39,450
単 独	923,000	—	—	—	350,200	572,800
合 計	2,239,000	718,300	—	264,400	644,050	612,250

※1：国庫補助率 5.5/10

※2：公共事業等債 充当率90%（交付税措置率22.2%）

※3：その他（補助）長崎駅周辺土地区画整理事業費負担金（東口駅前交通広場の整備費に係る県負担金）293,850千円

（単独）管理地使用料収入 200千円、保留地売却収入 350,000千円

※4：一般財源 減債基金繰入金充当 582,800千円

（補助10,000千円＋単独572,800千円＝582,800千円）

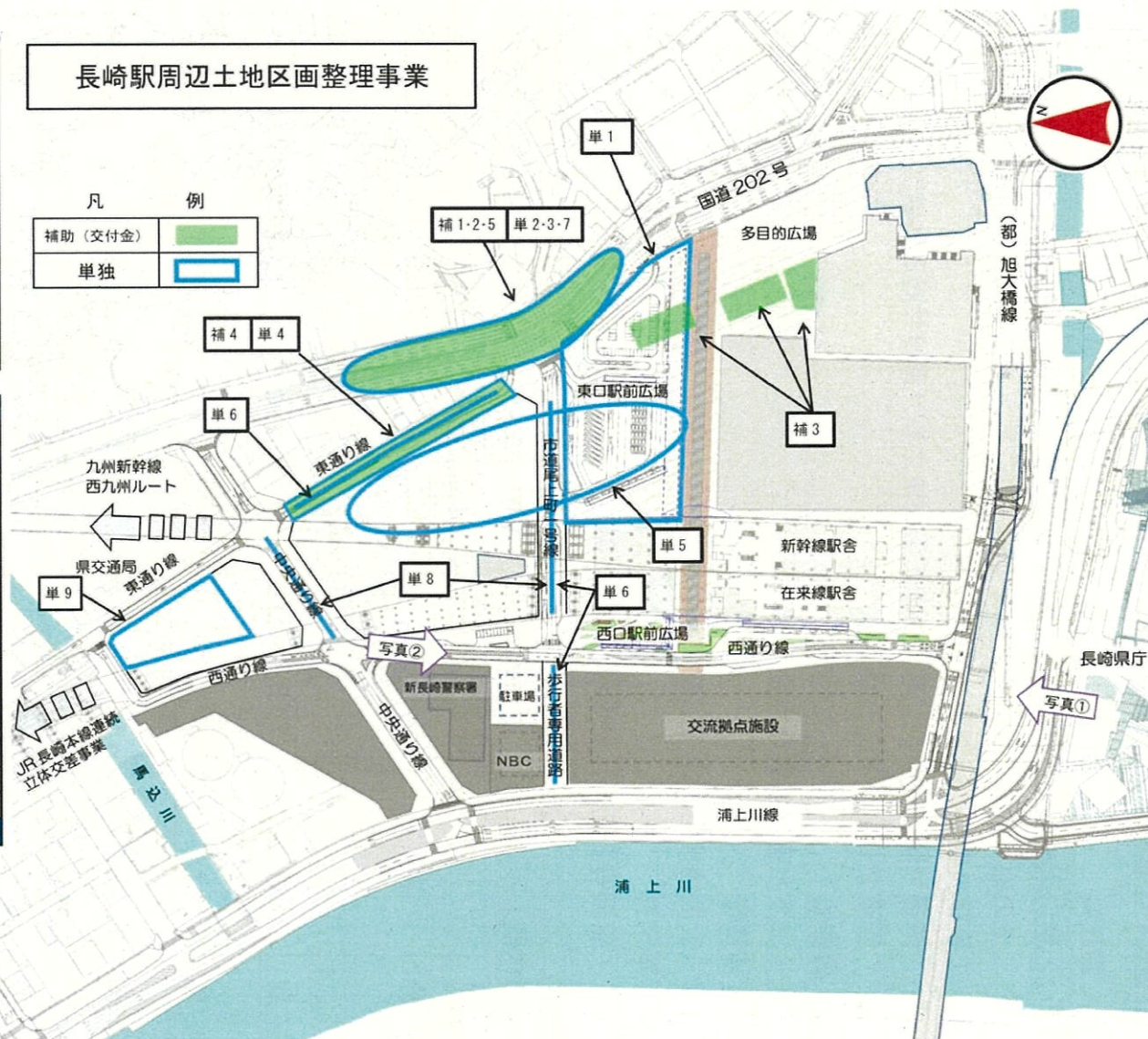
(単位:千円)

項目	工事名・業務名	事業費
補助 (交付金)	補 1 軌道移設工事委託	233,000
	補 2 電線共同溝移設工事委託	20,000
	補 3 建物撤去工事委託	140,000
	小計	393,000
工事 請負費	補 4 東通り線道路改良工事	72,000
	補 5 国道202号道路改良工事	80,000
	小計	152,000
補償費	補 3 建物補償(3棟)	760,000
	小計	760,000
事務費		11,000
合計		1,316,000

項目	工事名・業務名	事業費
委託料	単 1 東口駅前広場設計委託	50,000
	単 2 軌道移設工事委託	60,000
	単 3 電線共同溝移設工事委託	2,000
	その他(除草、システム保守等)	760
	小計	112,760
工事 請負費	単 4 東通り線道路改良工事	18,000
	単 5 土壌汚染対策工事	269,700
	単 6 電線共同溝整備工事	130,000
	単 7 国道202号道路改良工事	8,000
	小計	425,700
負担金	単 8 上下水道工事費負担金	347,000
	小計	347,000
補償費	単 9 仮換地指定に伴う補償	31,800
	小計	31,800
事務費		5,740
合計		923,000

長崎駅周辺土地区画整理事業

凡	例
補助(交付金)	
単独	



【参考資料】

■長崎駅周辺再整備事業スケジュール（予定）

項 目		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
九州新幹線西九州ルート 事業主体 鉄道・運輸機構 事業区間 武雄温泉～長崎 L=66km 総事業費 約 6,200 億円		建設工事				試運転		
						開業		
連続立体交差事業 事業主体 長崎県 事業区間 松山町～尾上町 L=約 2.5km 事業期間 H21～R3 総事業費 約 459 億円		建設工事		仮線撤去等	新駅舎へ切替			
					側道等工事			
土地区画整理事業 事業主体 長崎市 施行面積 約 19.2ha 事業期間 H21～R5 総事業費 約 154 億円	換地	随時、仮換地指定					換地処分等	
	西側	街路・広場整備						
	東側	建物等移転						
				国道 202 号				
				東口駅前広場		暫定供用		
				街路整備・宅地造成				
						多目的広場		

■現況写真

写真①



令和2年2月撮影

長崎駅西側の状況

写真②



令和2年2月撮影

長崎駅西通り線施工状況

債務負担行為		期 間	限度額 (設定額)
第2表 ページ	事 項		
10～11	長崎駅周辺土地区画整理事業 (軌道移設)	令和3年度から 令和4年度まで	千円 350,000

1 債務負担行為の目的

長崎駅周辺土地区画整理事業において、道路整備に伴う軌道の移設工事を令和2年度から令和4年度まで一括して委託するにあたり、委託期間である令和3年度から令和4年度までの業務委託に係る経費について債務負担行為を設定する。

2 債務負担行為限度額の内訳等

(1) 限度額

(単位：千円)

令和2年度	令和3年度	令和4年度
293,000	270,000	80,000
令和2年度当初予算	債務負担行為期間 限度額 合計 350,000	

(2) 業務内訳

ア 業務概要

国道202号から東口駅前広場にアクセスする新しい交差点の整備において、国道202号に市北部方面からの右折帯を追加する必要がある、右折帯の幅員を確保するため電車軌道の移設を行う。

- ・ 移設延長 L＝約300m
- ・ 移 設 幅 約2.5m
- ・ 工事内容 仮設電柱設置、センターポール電柱撤去、線路移設、センターポール電柱設置、軌道内舗装、仮設電柱撤去

イ 限度額の内訳

(ア) 令和2年度

事業費：293,000千円（当初予算）

工事内容：仮設電柱設置、センターポール電柱撤去、線路移設

(イ) 令和3年度

事業費：270,000千円（債務負担行為限度額）

工事内容：線路移設、センターポール電柱設置、軌道内舗装

(ウ) 令和4年度

事業費：80,000千円（債務負担行為限度額）

工事内容：軌道内舗装、仮設電柱撤去

(3) 財源内訳

(単位：千円)

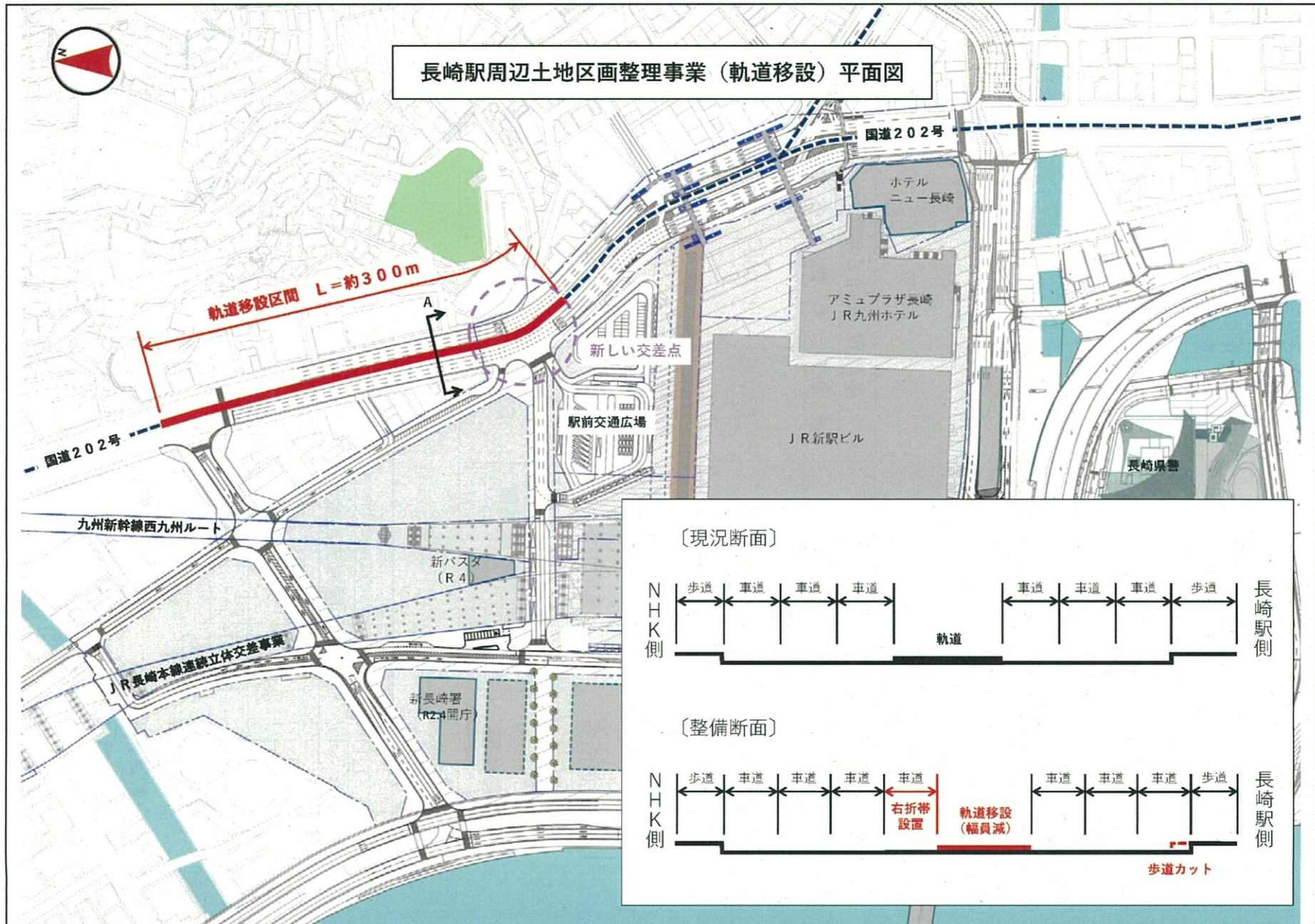
区 分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金 ※ 1	県支出金	地方債 ※ 2	その他 ※ 3	一般財源
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
補 助	240, 000	132, 000	—	97, 200	—	10, 800
単 独	110, 000	—	—	—	110, 000	—
合 計	350, 000	132, 000	—	97, 200	110, 000	10, 800

※ 1 : 国庫補助率 5. 5/10

※ 2 : 公共事業等債 充当率90% (交付税措置率22. 2%)

※ 3 : 保留地売却収入

長崎駅周辺土地区画整理事業（軌道移設）平面図



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
256～	8	5	2	9-1	【補助】都市基盤施設整備 事業費 東長崎地区	千円 250,000
257	土木費	都 市 計 画 費	都 市 開 発 費	11-1	【単独】都市基盤施設整備 事業費 東長崎地区	千円 30,000
合 計						千円 280,000

1 事業概要

東長崎地区土地区画整理事業の廃止予定区域(約400ha)において、都市計画道路や生活道路、公園の整備を進める。

2 令和2年度事業内容

(1) 都市計画道路

(単位：千円)

路線名	事業内容	事業費(令和2年度)			事業期間
		補 助	単 独	合 計	
東長崎縦貫線	用地購入 建物等移転補償 道路工事等	197,000	17,000	214,000	H28～R2

(2) 公 園

(単位：千円)

箇所名	事業内容	事業費(令和2年度)			事業期間
		補 助	単 独	合 計	
(仮称) 清藤公園	用地購入 工作物等移転補償 整備工事等	53,000	13,000	66,000	R1～R2

3 財源内訳

区 分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
補 助	千円 250,000	千円 119,900	千円 —	千円 117,000	千円 —	千円 13,100
単 独	30,000	—	—	23,200	—	6,800
合 計	280,000	119,900	—	140,200	—	19,900

※1 国庫補助率

東長崎縦貫線 : 5.0/10 (補助対象額 193,000 千円)

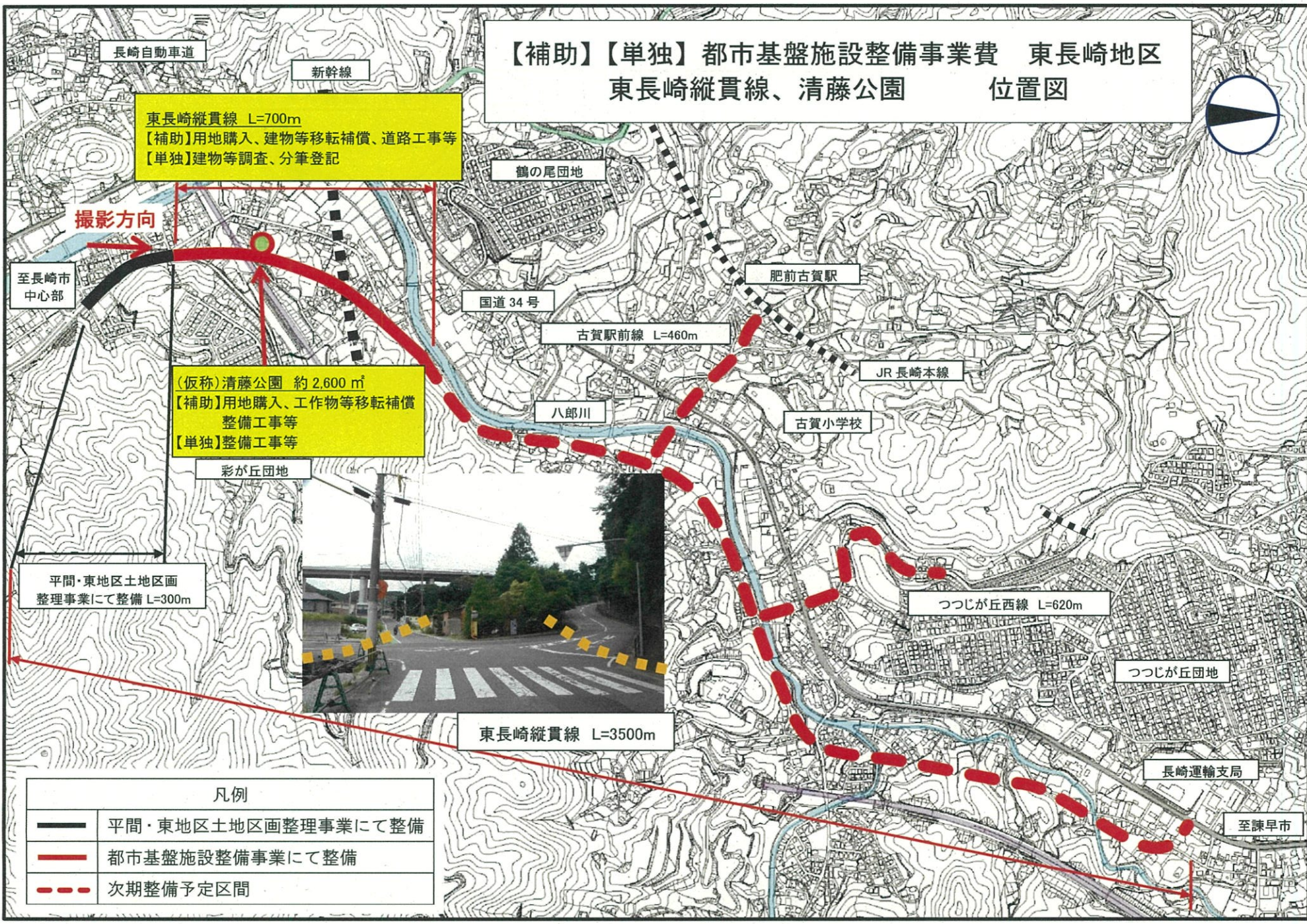
(仮称)清藤公園: 4.5/10 (補助対象額 52,000 千円)

※2 起債充当率

補助: 90%(公共事業等債) 交付税措置率22.2%

単独: 90%(地方道路等整備事業債)及び75%(一般単独事業債)

【補助】【単独】都市基盤施設整備事業費 東長崎地区
東長崎縦貫線、清藤公園 位置図



東長崎縦貫線 L=700m
【補助】用地購入、建物等移転補償、道路工事等
【単独】建物等調査、分筆登記

撮影方向

至長崎市
中心部

(仮称)清藤公園 約 2,600 m²
【補助】用地購入、工作物等移転補償
整備工事等
【単独】整備工事等

彩が丘団地

平間・東地区土地区画
整理事業にて整備 L=300m

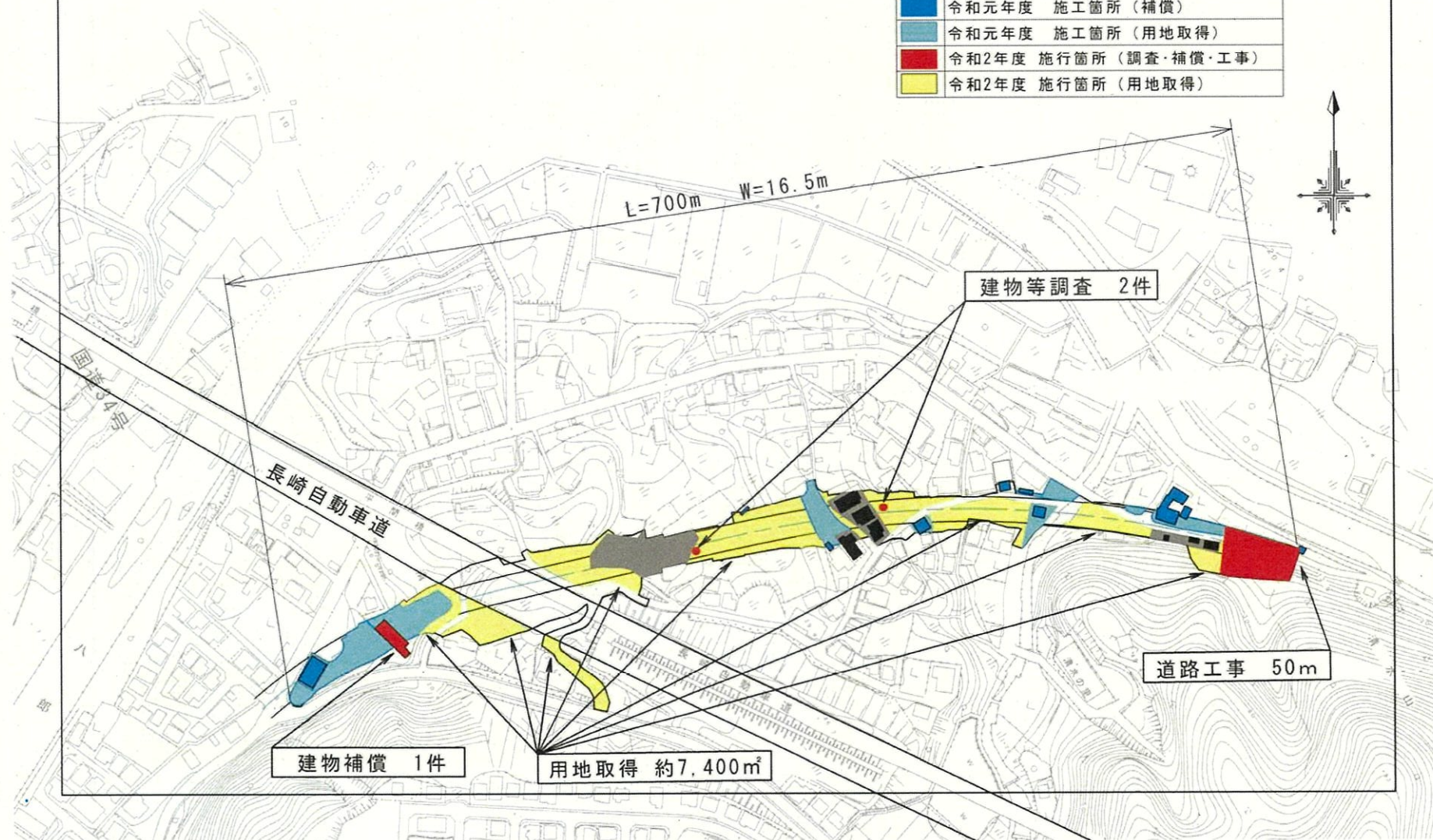
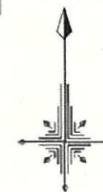


東長崎縦貫線 L=3500m

凡例	
	平間・東地区土地区画整理事業にて整備
	都市基盤施設整備事業にて整備
	次期整備予定区間

都市計画道路東長崎縦貫線 令和2年度施行箇所
都市基盤施設整備事業【地方創生道整備推進交付金】

凡 例	
	既用地取得箇所
	既建物補償箇所
	令和元年度 施工箇所（補償）
	令和元年度 施工箇所（用地取得）
	令和2年度 施行箇所（調査・補償・工事）
	令和2年度 施行箇所（用地取得）



至 諫早市

【補助】【単独】都市基盤施設整備事業費 東長崎地区
(仮称) 清藤公園^{せいとう}

国道 34 号

八郎川

新幹線

都市計画道路東長崎縦貫線
(W=16.5m)

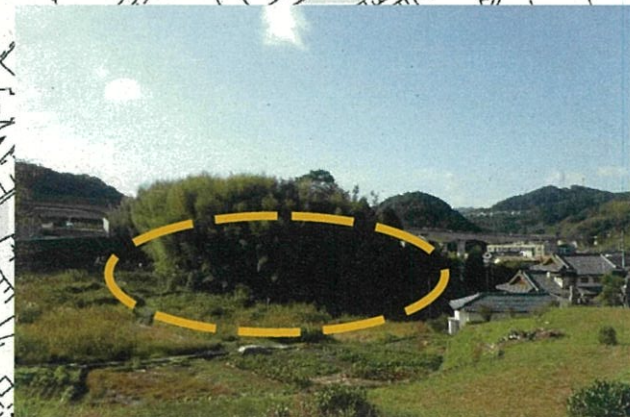
長崎自動車道

滝の観音入口

用地購入、工作物等移転補償
整備工事等、面積 約 2,600 m²

撮影方向

至 長崎市中心部



【補助】【単独】都市基盤施設整備事業費 東長崎地区
せいとう
(仮称)清藤公園 (イメージパース)



【補助】【単独】都市基盤施設整備事業費 東長崎地区 全体スケジュール

都市計画道路東長崎縦貫線（清藤地区）、（仮称）清藤公園

項 目			施行年度(予定)														
			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12
東長崎縦貫線 (清藤地区)	業務委託	建物等調査															
	補償交渉	建物等移転補償															
		用地購入															
	工事	道路工事等															
(仮称) 清藤公園	業務委託	地質調査及び詳細設計 丈量図作成、工作物等調査															
	補償交渉	工作物等移転補償															
		用地購入															
	工事	整備工事等															

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
256～ 257	8 土木費	5 都 市 計 画 費	2 都 市 開 発 費	10-1	【単独】土地区画整理事業費 東長崎平間・東地区	千円 153,200

1 事業概要

東長崎平間・東地区において、土地区画整理事業を施行することにより、健全かつ良好な住環境の向上を図る。

- ・施行地区面積 30.0ha
- ・施行期間 平成14年度～令和3年度
- ・総事業費 10,500,000千円
- ・進捗率 98.1%（平成30年度末）

2 令和2年度事業内容

(1) 委託料（画地確定測量、換地計画図書作成等）	45,100千円
(2) 工事請負費（道路改良工事、画地造成工事等）	83,000千円
(3) 上水道施設工事費負担金	1,000千円
(4) 補償費（工作物等移転3件）	7,000千円
(5) 事務費（修繕料、事務所事務費等）	17,100千円
計	153,200千円

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債 ※1	その他 ※2	一般財源
千円 153,200	千円 —	千円 —	千円 79,800	千円 33,197	千円 40,203

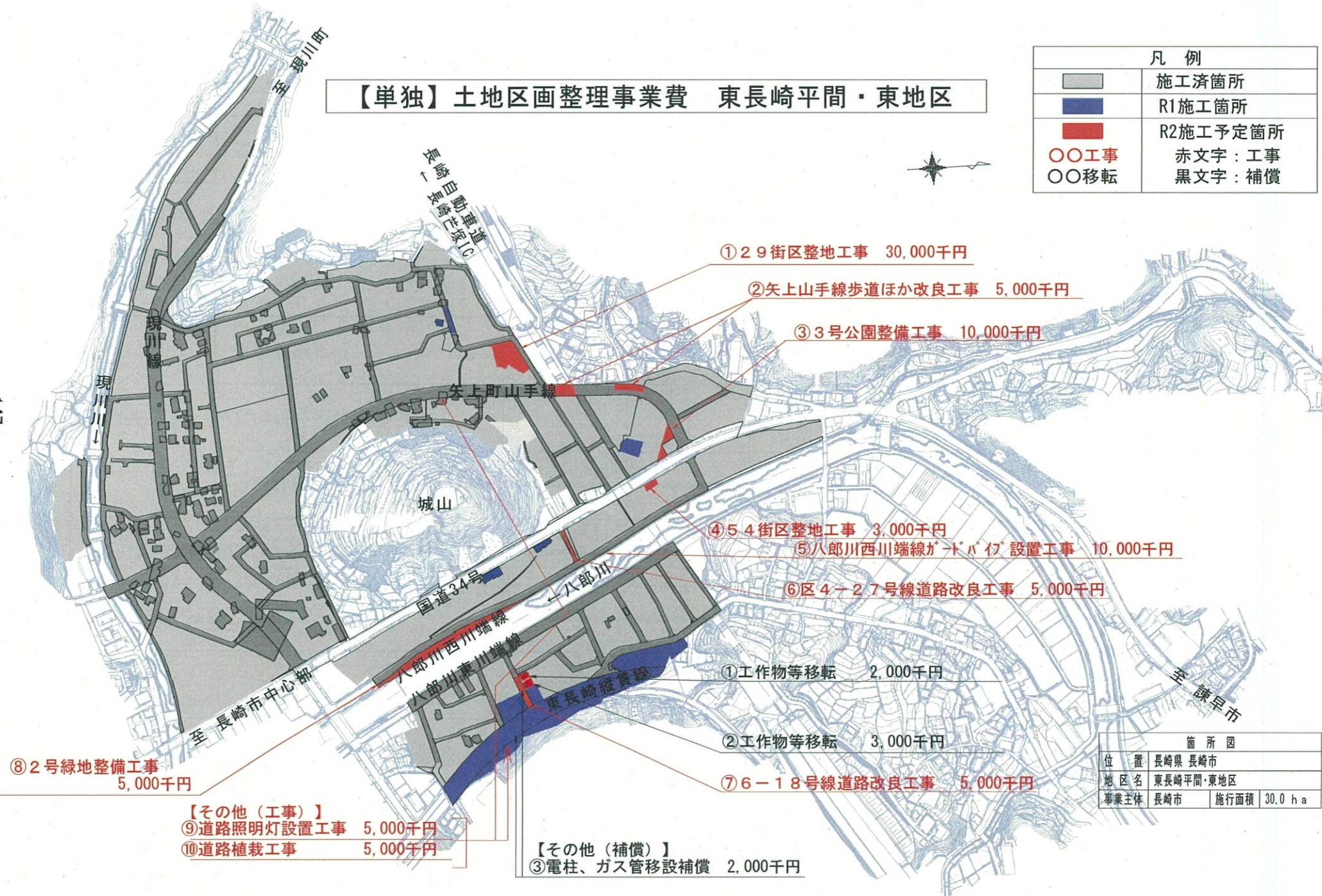
※1 起債充当率 単独:75%(一般単独事業債)

※2 保留地売却収入等

【単独】土地区画整理事業費 東長崎平間・東地区

凡 例	
	施工済箇所
	R1施工箇所
	R2施工予定箇所
〇〇工事	赤文字：工事
〇〇移転	黒文字：補償

-147-



箇 所 図		
位 置	長崎県 長崎市	
地 区 名	東長崎平間・東地区	
事業主体	長崎市	施行面積 30.0 ha

【単独】土地区画整理事業費 東長崎平間・東地区 全体スケジュール

項 目		施 行 年 度 (予定)																									
		令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度										
		6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12								
建物等移転補償・工事																											
画地確定測量業務																											
設計業務	換地計画図書作成																										
	換地処分図書作成																										
	事業計画変更																										
区画整理登記																											
保留地処分																											
清算金	交 付																										
	徴 収																										

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
256～ 257	8 土木費	5 都 市 計画費	3 街 路 事業費	2-1	【補助】都市構造再編 事業費 長崎駅東通り線	千円 51,200

1 事業概要

一般国道202号を補完する南北軸の道路として、長崎駅周辺地区における幹線道路網を形成する。

- ・幅 員 14m
- ・路線延長 60m
- ・事業費 280,000千円
- ・事業期間 令和元年度 ～ 令和4年度
- ・進捗率 約13%(令和元年度末見込み)

2 令和2年度事業内容

- (1) 【補助】都市構造再編事業費（長崎駅東通り線） 51,200千円
- ア 委託料 50,000千円
- ・ガス管移設設計委託、ガス管移設工事委託
- イ 事務費 1,200千円
- ・関係者協議等に係る旅費、消耗品費、印刷製本費 等

3 財源内訳

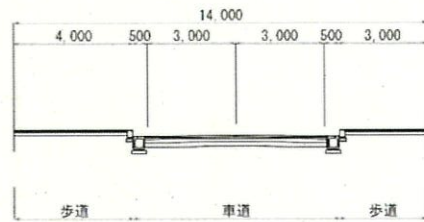
事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
千円 51,200	千円 25,000	千円 —	千円 23,500	千円 —	千円 2,700

※1：国庫補助率 5.0/10

※2：公共事業等債 充当率90%（交付税措置率22.2%）

長崎駅東通り線施工位置図

(都) 長崎駅東通り線標準断面図



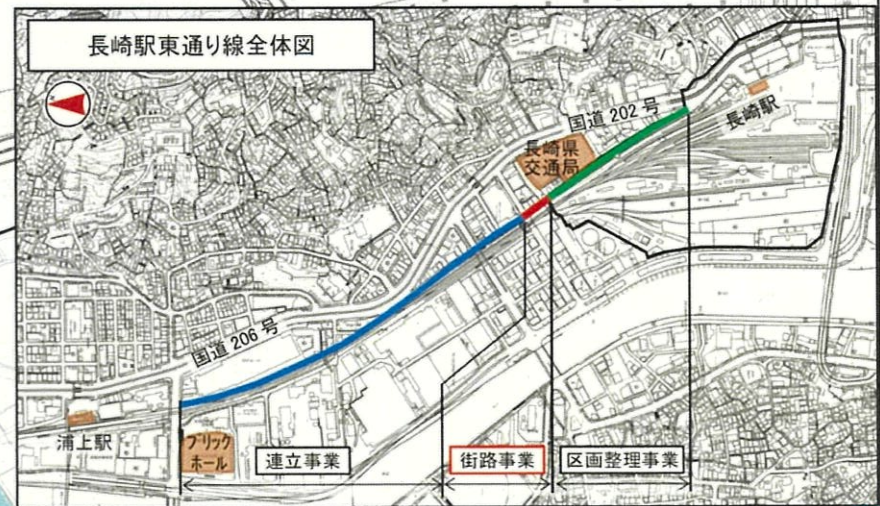
令和2年度当初予算

【(補助)長崎駅東通り線】

事業費:51,200千円

事業内容:ガス管移設設計委託、ガス管移設工事委託

長崎駅東通り線全体図



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
256～ 257	8 土木費	5 都 市 計画費	3 街 路 事業費	3-1	【単独】都市計画街路 整備事業費 長崎駅中央通り線	千円 2,000

1 事業概要

一般国道202号と（都）浦上川線とを連絡する東西軸の骨格となる道路として、長崎駅周辺地区における幹線道路網を形成する。

- ・幅 員 26m
- ・路線延長 60m
- ・事業費 890,000千円
- ・事業期間 平成26年度 ～ 令和2年度
- ・進捗率 約78%(令和元年度末見込み)

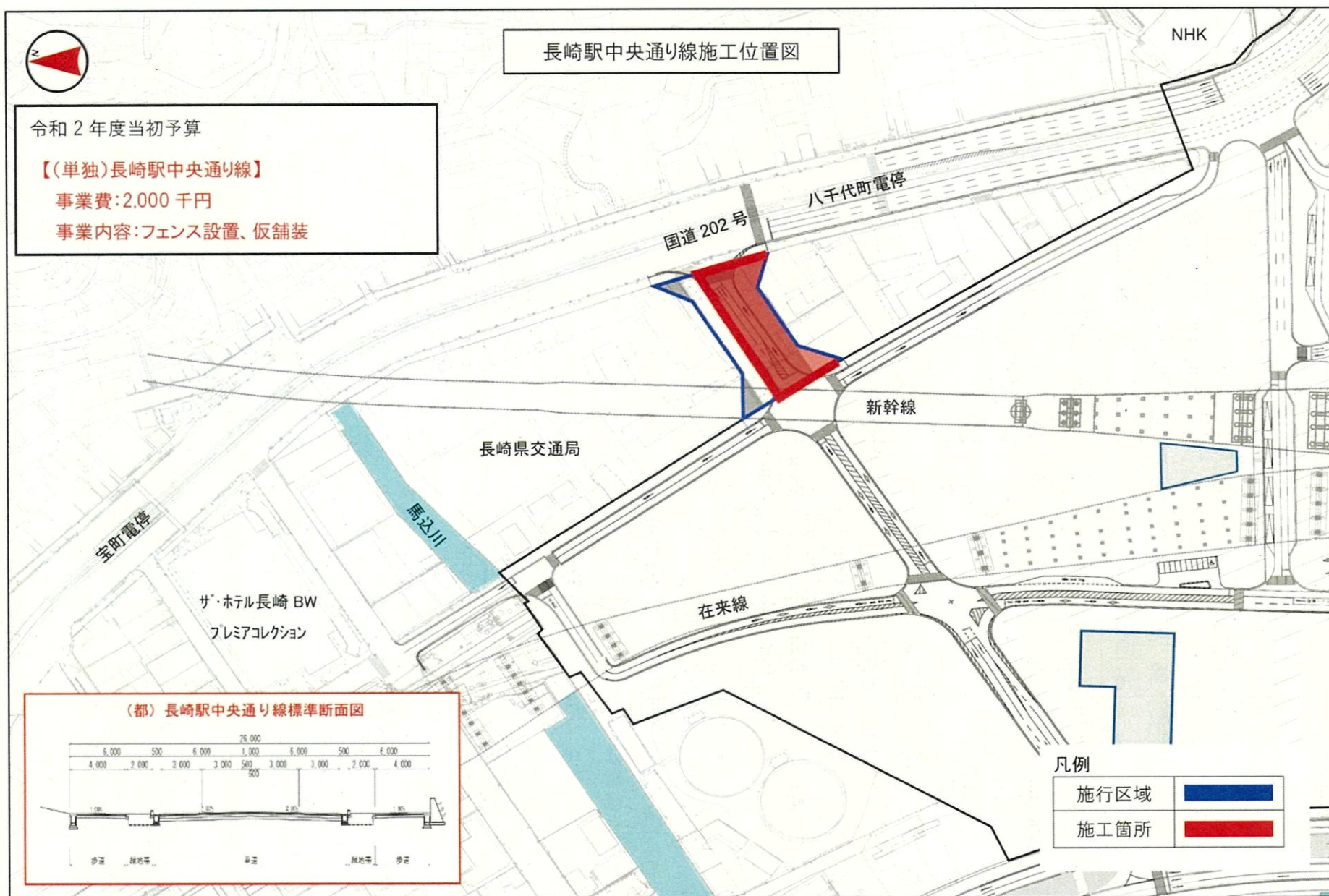
2 令和2年度事業内容

- (1) 【単独】都市計画街路整備事業費（長崎駅中央通り線） 2,000千円
- ア 委託料 2,000千円
- ・フェンス設置、仮舗装

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 2,000	千円 —	千円 —	千円 1,800	千円 —	千円 200

※ 一般単独業等債（地方道路等整備事業） 充当率90%



予 算 説 明 書					事 業 名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
260～ 261	8 土木費	5 都市 計画費	7 県施行事 業費負担 金	1-4	都市計画費負担金 ＪＲ長崎本線連続 立体交差事業費	千円 1,261,010

1 事業概要

長崎県が施行するＪＲ長崎本線連続立体交差事業について、地方財政法第27条の規定により、当該事業に要する事業費の一部を長崎市が負担する。

2 令和2年度事業内容

(1) 補助分 1,228,950千円

ア 事業内容 鉄道施設撤去・複線切替工事、側道等整備工事

イ 県施行負担金

$$1,228,950\text{千円} = 5,462,000\text{千円(全体事業費)} \times (1 - 0.55^{※1}) \times 1/2^{※2}$$

※1：補助率55.0% ※2：長崎市の負担割合

(2) 旧地方特定道路整備事業費分 32,060千円

ア 事業内容 側道等整備工事、浦上駅前広場整備工事、環境調査委託

イ 県施行負担金

$$32,060\text{千円} = 64,120\text{千円(全体事業費)} \times 1/2^{※1}$$

※1：長崎市の負担割合

3 財源内訳

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債 ※	その他	一般財源
補助分	千円 1,228,950	千円 —	千円 —	千円 1,106,000	千円 —	千円 122,950
旧地方特定道路 整備事業費分	32,060	—	—	28,800	—	3,260
合 計	1,261,010	—	—	1,134,800	—	126,210

※ 起債充当率 ○補助分 公共事業等債 充当率90% (交付税措置率22.2%)

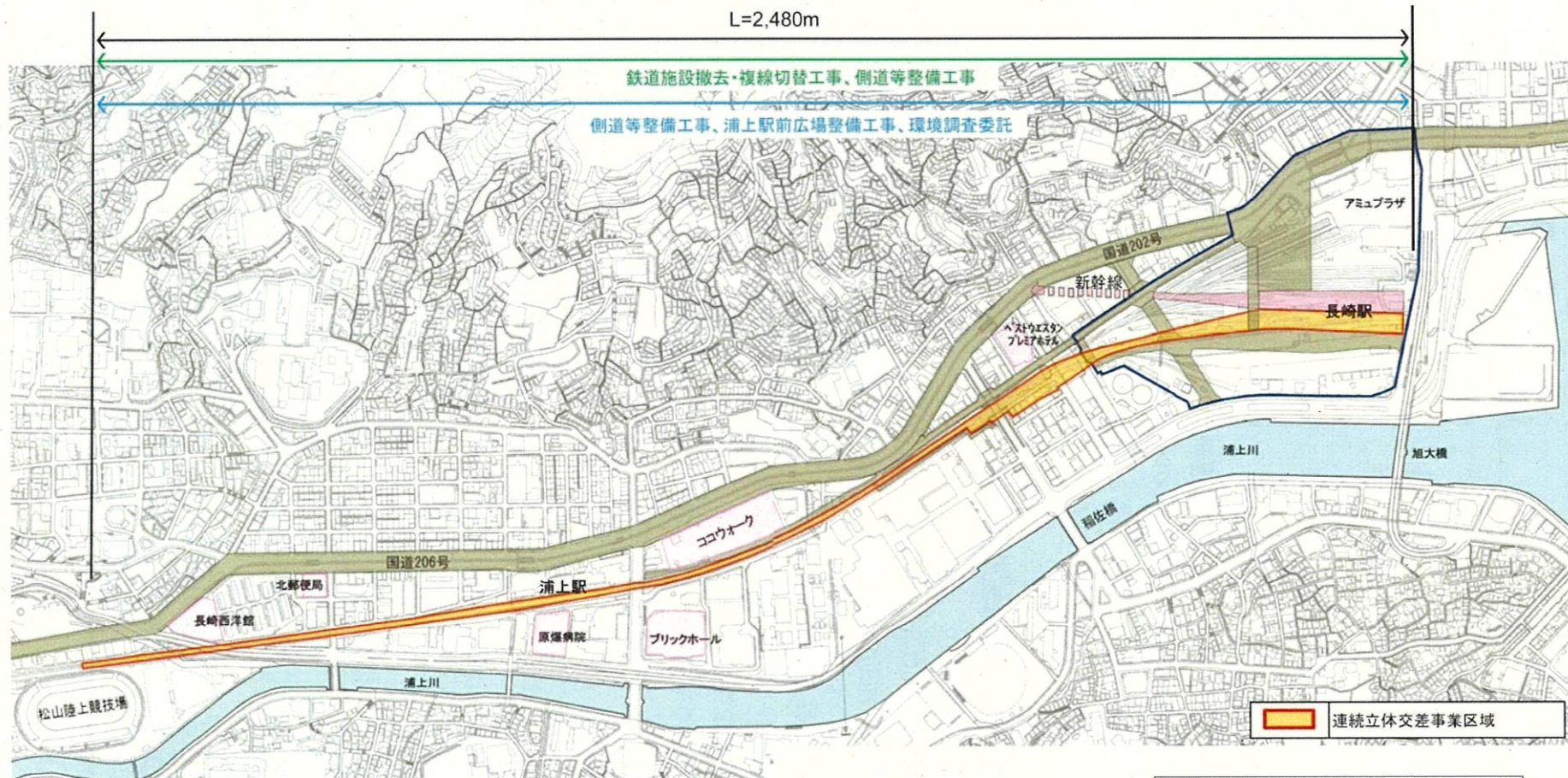
○旧地方特定道路整備事業費分 地方道路整備事業債 充当率90%



都市計画費負担金

JR長崎本線連続立体交差事業(松山町～尾上町)平面図

L=2,480m



凡 例	
緑文字	補助分
青文字	旧地方特定道路整備事業費